新京日日新聞
夕刊 四月十日
本紙定價 一部五錢 一ヶ月一圓 / 廣告料 普通一行一圓五十錢 特別同二圓五十錢
發行所 新京日日新聞社 電話三二一五・三三〇〇
發行人 十河榮忠 編輯人 和波繁 印刷人 水越内之介

石炭部門の開發に優先的資材配給
本年度物動計畫を改變

本年度物動計畫については昨年末以來星野總務長官、松島經濟部、柏村産業部兩次長等の東上により日滿間に根本的折衝を遂げ右に基き具體案を作成すべく先月初來神田企畫處長は日本側企畫院、大藏省、商工省、對滿事務局等關係各機關と協議を進めてゐたが、最後的諒解點に達したので十日午後九時四十五分着列車で歸任する、本年度物動計畫は歐洲並に支那に於ける新情勢の展開により日滿物動計畫は幾分變更を見た模樣であるが、本質的には軍需國防資材の確保並びに東亞食糧政策完遂に基く食糧農産物の増産に二大重點が置かれて居ることには變りなく、從つて滿洲國が東亞の中核としてこれに演ずる役割は更に増大したものと見られてゐる、かくて本年度物動の配分は動力資源の開發就中石炭部門の開發に對しては優先的に資材の配給が行はれ、更に鐵鋼、食用農産物増産等に對する資材配給も充分考慮されかゝる部門に對する極端なる重點構成を以て臨んでゐる、右情勢よりして軍需工業と雖も效果が數年後に期待される如き事業に對しては極力壓縮の方針がとられるものと見られるので、滿洲國に於ける各種企業も物動の本格的決定とともに相當の改變を見ることは必然であり各種の意味に於いて本年度物動計畫は注目の的となつてゐる

獨軍の北歐進攻
諾の對獨宣戰はデマ
戰捷に氣勇む駐滿獨公使館發表

歐洲の戰火は遂に丁抹からスカゲラツク海峽を越えて北歐スカンヂナヴイア半島にまで波及した、獨軍精鋭の丁諾兩國進入の報に駐滿獨逸公使館では風邪氣味のワグネル公使を始めクラーラ博士ら館員一同九日夜は公館に徹宵詰めきつて入電を案じてゐたが、十日朝十一時公使館に記者團を招き「諾威の對獨宣戰説などは噓だ、恐らく英佛側のためにするデマです」と冒頭して刻々の入電を片手にクラーラ博士から獨軍進入の眞相につき次のやうな談話を試みた

ドイツの北歐進出の發端は戰爭勃發以前からの英佛側による獨逸包圍政策に基因し、スカゲラツクや北海方面を封鎖することにより鐵、油脂、食料等の資源をドイツに補給することが困難となり疲弊することを英佛側は欲してゐたのだ、これに對し獨逸の對歐政策は戰前から着々奏效し伊太利、バルカン諸國、和蘭等はいづれも嚴正な中立態度をとる事を約してゐたため開戰とともに英佛側の期待を裏切ることになつた、そこで英佛側は一九一四年當時（前世界大戰）の甘い夢を繰り返へさうと最初バルカン方面に策動して失敗し、次いで芬蘭に煽動の魔手をのばしてこれまた成果を得ず、遂にノルウエー、デンマーク、スエーデン等北歐諸國を壓迫して對獨敵性を示すやうに畫策したのだ、これはジークフリト線を突破する見込みなく空中戰に自信のない結果戰場を自ら他に求めた結果である、この英佛側の工作に對し諾、丁兩國とも何等力ある對策を講じることが出來なかつたので獨逸はやむを得ず自國民保護の立場から進入を決意するに至つたもので勿論領土的意思は少しもなく戰爭が繼續する期間だけ駐兵するに過ぎず、諾、丁兩國とも永世中立國ではないから前回の中立侵犯問題とは全く事情を異にしてゐる、從つて兩國とも強い反感や抵抗などは全然なく、デンマークの如きは寧ろ獨軍の進入を歡迎する如き態度に出て只今の入電によつてもノルウエー政府はデンマーク同樣進入獨軍に對し抵抗するなど訓令したとあるからオスロ空爆説や遷都説の如きは米國その他の抱き込みを策する英佛得意のデマと思はれる、たゞ空軍の一部がノルウエーに赴いたのは事實で同國海岸の峽灣は絶好の對英潜水戰艦の根據地だしスカパ・フロー軍港にも近いからだがそれを軍事的目的に使用するか否かは一にかゝつて今後の英佛側の出樣によるものです

國兵法
十一日公布 十五日實施

九日の皇帝陛下御臨の參議府會議で通過を見た國兵法並に同[illegible]手續終了を待つて十一日公布、十五日より施行される

英佛側の封鎖に雷光石火の逆手
ドイツの行動當然の歸結

【ニユーヨーク九日發國通】ポーランド攻略以來久しくみられなかつたドイツの電撃戰は今回スカンヂナヴイアに新展開をみせいよいよ英佛獨の本格的戰鬪が豫想されるに至つたが當地軍事通の解釋ではドイツは既にスカンヂナヴイアをドイツがとるかまたは英國にとられるかいづれかの運命にあるものとして機會を狙つてゐたものであり、英國の中立侵犯を絶好の口實として電光石火の行動を開始したのは當然の歸結であつて、スウエーデンも遲かれ早かれノルウエーと同樣の運命に陷るものと豫想してゐる、しかしてドイツは今次作戰によつてスカンヂナヴイアの資源を自己の掌中に收め、英佛側の經濟封鎖に一大逆手を加へんとする點にヒトラー總統の眞の目的があるもの〻如くこれに對してスカンヂナヴイア諸國がどの程度まで防戰するか、また英佛がどの程度まで陸軍を送り得るかは頗る問題であり、殊にドイツが逸早くノルウエー西岸に援助の途を杜絶する作戰に出た以上英佛はまたまた立遲れの苦杯を喫するほかなからうと言ふ觀測が有力である

丁抹全都市占領
行動開始三時間半 獨軍司令部發表

【ベルリン九日發國通】デンマーク政府は優勢なるドイツ軍に抗すべくもなく九日正午屈服したが、ドイツ軍司令部は九日午前行動開始以來三時間半にしてデンマークの全都市を占領した旨左の如く發表した

九日早朝ドイツ機械化部隊は司令部の命令一下フレンスブルグ及びトンデルの二ケ所に於てドイツデンマーク國境を突破しアーペンラー及びエスビエルグ經由北進した、又東海岸攻撃の部隊は未明の闇を衝いて小ベルト海峽のミツデル・ファルトに上陸し同所を占領した又ドイツ海軍は大ベルト海峽を通過しゴルゼール及びナボルグに陸戰隊揚陸に成功した、又ワルネミユンデから進軍せる部隊及び一裝甲列車はゲセル・ゲドゼルに上陸し同地から北上、同時にゲドゼル島南端からフオルデイングボルグにかゝる橋梁を占領した、引續きドイツ部隊は九日未明首都コペンハーゲンに上陸し瞬く間に城塞及び放送局を占領した、斯くて九日午前八時デンマークの全都市はドイツ軍の手に歸したのである

諾國國王避難

【ワシントン九日發國通】オスロー駐剳米國公使館よりの報告によれば、ノルウエー王ハーマン七世の御一族は九日ノルウエー政府と共に假首都ハマルに向け避難された

北海北部で英艦隊猛爆

【ベルリン九日發國通】ドイツ軍司令部發表＝ドイツ偵察機隊よりの報告によればドイツ空軍の强力部隊は有力なる英艦隊が北海北部にあることを突止めこれに猛攻を開始した、右英艦隊中には主力艦大型及び小型巡洋艦多數が含まれてゐるが、わが軍は敵主力艦二隻に强力爆彈三個を命中せしめて重大なる損害を與へ、大型巡洋艦二隻にも大損傷を與へた、その他にも敵艦一隻はわが軍の爆撃を受けて船體を傾斜して海上に立往生、他の一隻は猛火に包まれてゐる

諾國首都占領
獨軍司令部公表

【ベルリン九日發國通至急報】ドイツ軍司令部はノルウエーに進入したドイツ軍は九日ノルウエーの首都オスロを何らの抵抗も受けず無血占領した旨公表した

英獨兩艦隊激戰中

【ロンドン九日發國通】九日午後ロンドンに達した情報によれば英獨兩國艦隊は目下三ケ所において激戰中であると傳へられる

英海軍當局は作戰上の理由から口を緘して語らないが、政府スポークスマンは恐らくこの十二時間以内に重大ニユースを發表し得ることゝならうと語つた

デンマーク 獨の保護受諾

【ロンドン九日發國通】コペンハーゲン電によればデンマーク政府は九日閣議を開催、ドイツ側の條件に基きその保護を受諾する旨決定した、但しドイツ軍の國土侵入に對しては一應抗議を提出するはずである

丁、諾兩國の領土主權尊重
獨宣傳相の言明

【ベルリン九日發國通】ゲツベルス宣傳相は九日ドイツ軍の北歐進駐に關聯しドイツはデンマーク、ノルウエー兩國の獨立および領土主權を充分尊重する用意ある旨左の如く言明した

ドイツ軍はデンマーク、ノルウエー兩國に進入したが、ドイツは今後とも兩國の領土的完成ならびに政治的獨立を尊重する用意があり、英國側がドイツ側の積極行動を餘儀なくせしめざる限りデンマーク、ノルウエー兩國の領土を對英軍事行動の基地として使用する意圖を有しない

援諾英軍出發

【ニユーヨーク九日發國通】九日ニユーヨークで傍受したイギリスのラヂオ放送はノルウエー援助のイギリス軍は既にイギリスを出發しノルウエーに向つたと發表、同放送は又デンマークは今や中立國として認めないとイギリスの態度を闡明した

佛首相英京へ

【パリ九日發國通】レイノー佛首相ならびにダラディエ國防相は情勢の急變に處し英國政府と重要協議をなすため九日急遽ロンドンに向つた

英佛戰時最高會議

【ロンドン九日發國通】ドイツ軍の北歐電撃攻略に直面した英佛兩國首腦は九日午後四時より約二時間にわたり英首相官邸に緊急第七次英佛戰時最高會議を開き情勢の急轉につき各方面の情報を檢討し軍事外交上の共同對策を決定した

伊首相に了解濟か

【ローマ九日發國通】ドイツ軍のデンマーク占領及びノルウエー攻撃に關しては事前にイタリー側に通告されてゐたことは明白で、ヒトラー總統は過日のブレンネル會談に於てムソリーニ首相にこの計畫を傳へイタリーの了解を求めたものと信ぜられる、ムソリーニ首相が七日オルヴイエトに於ける演説中「本年春のうちに重大事が起るかも知れぬが、國民は動搖するな」と言ふ意味を述べたが、今にして見れば右は今回のドイツ軍の疾風迅雷的行動の豫報であつたと解される

防水堰の決潰祟る
麾下の遊擊隊散亂

【廣東九日發國通】敗戰につぐ敗戰に凋落の一途を辿りつゝある北江流域淸遠西南方地區の蔣軍はこの程北江の増水に乘じ淸遠南方四十キロの蘆苞墟附近の防水堰を決潰するの暴擧を敢てしたが、これに端を發しかねて脱走、わが軍に投降し來つた第三遊擊縱隊に屬する樊某以下數名の語るところによれば蘆苞墟以北、北江兩岸地區にある伍觀淇を隊長とする二千數百の遊擊隊は數ケ月前より反戰和平の機運兆しつゝあつたが新中央政府樹立によりこの機運に一層拍車をかけ内訌反目相次ぎ伍司令はこれが對策に腐心しつゝあつた所たまたま放水氾濫事件起るやこれは全く伍司令の奸策なりとして非難の聲起り、これを契機として各級指揮官以下反目紛爭を續け逃亡者續出、同遊擊縱隊は崩壞に瀕してゐると言はれる

無殘濁水の犧牲
＝蔣軍の飽くなき暴虐＝

【〇〇基地十日發國通】蔣軍の非人道極まる北江、蘆苞墟合流地點の防水堰決潰情況を視察すべく九日午前記者は大平大尉操縱の〇〇機に同乘〇〇基地を飛出した、西進する事暫し西南を過ぎ機首を右に轉ずれば碧空の下北江左岸地區は一面の黄濁水、その中に沒した部落が僅かに散見されるのみで人影一つ見えない、合流地點にはコンクリート製の防水堰が中央の鐵扉を開け放したまゝもの凄い勢で濁水を吐き出してゐる、更に蘆苞墟に沿うて東進すれば西岸の田畑は水浸となり農民が孜々營々として耕した作物は無殘濁水の犧牲となり水中深く沒してゐる、今後雨期に至ると共に打續く降雨を想へば被害地區は益す擴大すべく打ちひしがれたこれ等農民の寄邊無き生活に同情を禁じ得ぬと共に蔣軍の飽くなき暴虐に義憤の情を覺え〇〇基地に歸還した

市井談義
抜け道に用心
配給の通帳制檢討

市は愈よ區及び町會を通じて、重要物資の配給を行ふべく、略ぼその準備を完了したといふ▼どんな方法に依るものか、未だ詳細の發表のない今日、批評の自由を有せぬが、要するに米、小麥粉等に對し、各戸毎にその家族數に應じ所要量を定め、購買通帳制度に依つて、之を配給せんとするものらしい▼この通帳制度は從來往々行はれた切符制度に比すれば、公平且合理的で、配給方法として確かに一歩を進めたものである▼但し之は所要量の確保、即ち市が市民の生活上必要なる物資の量は、必ず供給し得るといふ確信の下に、初めて實行さるべき制度であつて、物資不足の應急策としては、必ずしもその效果は期待出來ぬ▼寧ろこの制度は反對に市民の要求量が增加する結果を生じないかと案じられる▼尤も米の方は餘り大して心配は入らぬ日本人の常食たる米は配給方法の如何に依つて、甚だしく增減すべき理由がないからである▼たゞ小麥粉はさう行かぬ。滿人の常食は他に高粱、包米、粟等がある。是等の雜穀を勘定に入れないで、小麥粉のみの定量配給を行はんとすると、所要量は必然的に著しく膨脹する▼何となれば通帳制度に於ては、市民に對し貧富に依る差別待遇は出來ぬ。たとへ高粱を食べてゐる細民でも、小麥粉を買へるとなれば、必ず要求するに違ひない。それを自分で食べもしようし、他に轉賣もしよう、之を防ぐ方法は先づ無い▼市民の要求するだけの小麥粉の量が確保出來れば、無論問題はないが、それがむづかしいとなれば、折角の名案も實行不可能となる虞がある▼この點市に於て充分の用意が望ましい▼勿論かゝる制度の採用は、今日の非常時局を乘切り、明日への動員體制を整へんとする準備工作であるから、單なる經濟政策として見ることは出來ぬ。從つて之が遂行には全市民の道義的援助が要望されるが、切符制度ならば、これだけしか小麥粉がないから、後は高粱でも食べて呉れと言つて居れるが、それの出來ぬところに通帳制度の惱みがある▼市がそれを知りつゝ後者を採用せんとするに付ては、餘程の用意と覺悟があることと思ふ。

ことゝなつたものである

訪伊使節團大阪着

【大阪國通】訪伊經濟使節團長特命全權大使佐藤尚武氏らの一行は九日午後五時着のつばめで來阪、同七時新大阪ホテルにおける大阪商工會議所、關西日伊協會共同主催の合同歡送會に臨んだ、佐藤團長、小林、片岡兩代表を初め主催者側から稻畑勝太郎、津田信吾氏等關西財界の名士九十餘名出席、晩餐を共にし使節團の行を壯んにし盛會裡に八時二十分散會

地方長官會議 五月一日招集

【東京國通】米内内閣初の地方長官會議は九日の閣議で協議の結果、二日より一週間に亙つて開催することに決定した、而して今回の會議は第七十五議會において協贊を經た諸法律施行の打合せを行ふとともに支那事變處理方策として新段階に入つた新中央政府の成立を機とし方策その他政府の對内外施政の全般に亙つてこれが徹底を期する

揚子江下流 殘敵掃蕩戰果
敵遺屍二千三十六

【上海十日發國通】新中央政府樹立と共にわが占領地域内の治安は劃期的改善のあとを示しつゝあり、三月中の揚子江下流わが陸軍諸部隊の江南、江北一帶における綜合戰果は敵抗戰力の衰退に伴ひ抗戰兵力および敵遺棄死體等において前月に比して減少してゐるが、わが警備隊の掃蕩戰回數は前月に比し十五回多く二百卅三回に達し敵遺棄死體二千卅六に對しわが尊き犧牲者は六十六であつた、同月中の綜合戰果左の通り

交戰回數 二三三、交戰兵力 四三、三〇〇、遺棄死體 二、〇三六、捕虜 三七三、鹵獲品 迫擊砲 二、輕機 一五、小銃 三四六、拳銃 五四、手榴彈 八一、民船 三三

その他迫擊砲彈、機銃彈、小銃、拳銃彈、無線電話機等多數

黒河分館昇格

在黒河日本國領事館分館は近時愈よ複雜化し來る滿ソ國境關係の複雜性に即應しこれが擴充の必要に迫られ過般來これが準備を進めてゐたがいよ〳〵これが擴充案も議會を通過したため來る七月一日を以て領事館に昇格することに決定をみた

黒河事務所閉鎖式

滿洲國外務局黒河駐在員事務所は十日午前十時より河野外務局第一科長列席裡に閉鎖式を擧行した

同黒河駐在員制度は康德五年三月駐黒河ソ聯領事館の引揚後これと同時にわが外務局辦事處が閉鎖された際その後の外務關係事務處理のため設置されたものであるがその後關係機關の整備充實をみた今日これが特設の必要を認めざる狀態に立ち至つたため遂に閉鎖される

浦風進水式

【大阪國通】海國日本の護りを強化する精鋭浦風の進水式は十日朝吳鎮長官代理阪神海軍部長奧少將臨席の下に大阪藤永田造船所において盛大に擧行、岸本同所長の支綱切斷に依つて浦風は萬歳歡呼裡に木津川尻にその雄姿を浮べた

國府還都慶祝
國民使節人選決定

【東京國通】國民政府還都慶祝のため派遣される國民使節に關しては關係方面に於て銓衡中であつたが左の如く決定阿部全權大使一行と共に十八日神戸解纜の鹿島丸で渡支することゝなつた

貴衆兩院代表 貴族院議長松平頼壽、衆議院議長小山松壽
財界代表 日商會頭八田嘉明、東洋紡績社長庄司乙吉
對支團體代表 東洋協會副會長永田秀次郎、東亞同文會理事一宮房次郎
新聞界代表 中外商業新報社長田中都吉、同盟通信社長古野伊之助
雜誌界代表 菊池寬

人事往來

着京
△日ノ下重夫氏（哈爾濱官吏）十日來京櫻ホテル
△木村禮三郎氏（會社員）同

出發
△山口秋夫氏 奉天へ
△淺山純一氏 錦州へ
△兼松慶氏 承德へ
△大谷繁義氏 錦州へ
△沼田晴輝氏 哈爾濱へ
△陽向正善氏 北京へ

・・・東郷男來京・・・ 滿支方面視察中の貴族院議員東郷安男爵は夫人、令孃同伴北京、天津を經て十日午後九時四十五分着列車で來京、新京には一日滯在のうへ十一日午後九時四十分大連に向ひ十七日東京歸着の豫定

その日く

◈まさに虚を突いて、獨逸はデンマークへの進撃と打つて出た
◈多でもないに、北歐の情勢は暗澹、救ひのオーロラが欲しい所
◈こゝで英國内にチャーチル反對の聲などが起れば益す面白くなる
◈デンマークの農村文化にナチス政策を掛ける、この解式は難しい
◈この時、西部戰線異狀なしは表面だけで、心は遠く飛んでゐよう

皇帝陛下に献木
植樹節に市長から

十八日から廿日まで三日に亘つて行はれる植樹節に當り國都では新京特別市公署協和會首都本部兩者協力のもとに各種行事を計畫準備中であるが市公署ではこれに因み皇帝陛下に献木を行ふべく市長名をもつて宮內府宛献上手續を取つてゐる、献上樹木は松二本、イタヤ楓一本、カンボク一本ハンドイ一本、合計五本で御嘉納あらせられゝば二十日市公署より献上される筈、尙植樹節最後決定案は十二日午後零時半より協和會首都本部で開催せられる委員會に於て本極りすることになつた

けふから一年生
新入學兒童 憧れの校門へ

「ボクモ、ワタシモケフカラ一ネンセイ」畏くも皇太子殿下學習院御降學のめでたい年に學齡に達した喜びの子供達の學校生活の第一歩、入學式が快晴の十日午前十時から各校一齊に擧行された、スフ入りでも子供には嬉しい服、新しいランドセル背にわくわくする胸を押へお父さんやお母さんに附添はれて憧れの校門をくゞつた兒童の數は室町一四五、西廣場二五〇、白菊二八〇、八島二五〇、櫻木二九〇、三笠一三九、順天三三四、東光一〇〇、春光五〇、双葉三〇、力行二〇の一千八百七十六名で毎年增加する小さな日本人の頼母しさ「名前は何と言ひますか」と問はれると元氣一杯「ハイ」と答へて式後教室での机の割當も決り喜びの報告をする入學奉告祭は正午から新京神社で關屋學校組合長參列の下に八島校新入生が各校を代表して嚴肅に擧行した外各校兒童も相次いで參拜し社頭を賑はせた【寫眞は教室に入つた兒童（上）と新京神社參拜の新入兒童】

煙政事務打合會

新京特別市公署保健科煙政股では市中より阿片癮者撲滅、又はこれが救濟のため諸種計畫實施中であるが十二日午後二時より市公署第一會議室に於て煙政事務打合會議を開催、禁煙總局、首都警察廳衞生科、康生院等關係者十五、六名と共に國都に於ける阿片の取締り康生院運營、各管煙所關係事項、阿片斷禁宣傳工作等に關し打合せを行ふことになつた

値上げして下さい！
相踵ぐ陳情
今度は滿人風呂屋
實地調査の上で斷 首警、態度愼重

髪結さんや理髪屋、おまけにアイスクリーム屋さんまでが續々と値上方の申請を監察當局に持込んでゐるがこれに刺戟されてか今度は滿人風呂屋さんが「人事ぢやない、物價高騰に伴ふ影響は彼等ばかりぢやありません」と十日午前十時新京市內の滿人風呂屋を代表して組合である澡塘同業公會會長王鐘寄氏が入浴料金の値上申請をした

即ち浴場內に使用するタオル、石鹸其の他の消耗品並に人件費の高騰に伴つて從來の入浴料金では收支の決算が取れないといふのである

申請改定價格は全般的に二割五分の引上げになつてゐるそれに依ると新料金は左の通りである（括弧內は現在價格）

△官盆　五十錢（四十錢）
△雅座　一等三十錢（二十四錢）二等二十八錢（二十二錢）三等二十六錢（二十錢）市外二十二錢（十六錢）
△池座　一等廿五錢（二十錢）二等廿三錢（十八錢）市外十七錢（十二錢）
△水活　一等廿五錢（二十錢）二等同（同）三等、同（同）市外同（同）
△下活　一等四十五錢（四十錢）二等同（同）三等同（同）市外同（同）

以上であるが同保安係では物價並に人件費高騰を名目にして價格料金値上の申請が續出してゐるのに鑑み係員を派遣、實地調査の後愼重協議の上可否を決定することとなつた

大東京に偉觀
滿洲國勢博物館
工費三百萬圓で 年內に着工

日本紀元二千六百年を慶祝して對滿認識の昂揚並に日滿不可分關係の完璧を期し滿洲國から日本へ寄贈する「滿洲國勢博物館」の寄贈準備當任幹事會は九日午後一時から協和會中央本部で許事長官川總務部長以下幹事十四名が出席して開催協議したが博物館の管理は滿洲國で行ひ出陳物の內容等にも鋭意考慮を拂ひ歷史的、地理的な滿洲國勢の資料を整備充實することによつて建設的意義の發揮に努めるほか建築樣式、敷地その他は總務廳管參事官、藤山博物館長が近く東上して內閣、對滿事務局、文部省、陸海軍その他關係機關と細部打合せを遂げることとなつたなほ工費約三百萬圓を政府並に特殊會社が醵出して年內に特工、明年度完成の豫定をもつて計畫を進める模樣である

奧地民衆に施療の手
軍醫陣の活躍

白衣の勇士に手厚い看護を施してゐる關東軍隷下各部隊の軍醫さん達は席溫まる時なき多忙な軍務の餘暇をさいて醫療に惠まれない奧地民衆に施療を實施し感謝の的となつてゐるが、關東軍軍醫部調査による昨年十月から本年二月までの五ヶ月間に於ける施療人員は全滿各地に於て次の如く五千三百名の多きに上つてゐる

△東安省＝半截河一六五、饒河五〇、虎林一一七、林口八五
△黒河省＝奇克六九、烏雲八七、佛山一一六、勝武屯八一、璦琿二一三、孫吳二、三三一、法別拉四四
△牡丹江省＝穆稜八〇、下城子二九、小城子六、興源屯二六五、大肚川一八、綏陽五三、梨樹鎮六六、綏芬河一、三岔口五、石門子四八、狼洞溝五六
△間島省＝琿春六一、東土門子三〇
△通化省＝通化四二
△濱江省＝山河屯四六、慶子嶺四一、帽子山一六六、亮子嶺一二五、平房三四七
△吉林省＝樺甸一二七
△熱河省＝古北口二六五
△興安東省＝索倫一一
△三江省＝羅北二〇
△計＝五、三〇〇

留守中盜難

富錦路一六二號吉林人造石油會社員衛富士義勝、同本田政雄同黒崎平八郎さんらは八日午後二時から四時まで不在中忍び込んだ賊に衛富士氏は背廣一着（百七十圓）寫眞機一臺（五百圓）本田氏は現金八十圓、黒崎氏は寫眞機一臺（七百圓）を竊取されてゐるのを發見、順天署へ屆け出た

未整備は後まはし
公定家賃 先づ三千戸に實施

全滿に魁けて五月一日實施の建前を堅持しつつ住宅家賃統制の萬全を期してゐる市では申告約四千五百戸（新京税捐局課税區域）のうち約二千三百戸が税捐局の家屋税臺帳と合致しなかつたので去る六日以來再申告を求め九日終了した

これに依つて更に各戸についての嚴重な調査を行ふとともに申告家賃臺帳の整備を急ぎ、廿四、五日ごろ査定委員會にかけて審議のうへ、いよいよ公定家賃を定めることとなつたが

脫稅、未申告、名儀變更の屆出未了などのため約千五百戸は臺帳の整備が遲れるものと見られるので取敢へず約三千戸の公定家賃を査定委員會で決定、他は準備完了次第一日に遡つて實施されることになる模樣である

可愛い一年生
全滿に七萬突破
就學兒童から見た 力強い日系躍進

「僕も私も今日から一年生」と幼い子供たちが待ち焦れてゐた全滿日本人小學校の入學式は八日擧行された開拓地小學校をトップとして都會地の十日を最後に全滿二百七校とも全部終了したが、年と共に激增する日系入滿者は就學兒童の數にも力強く影響し一般地では六萬七千五百六十五人（昨年五萬九千五百六十六人に比して約八千人の增）更に開拓地では昨年一千三百名に對し、一躍六千四百九十一人を數へる驚くべき增加を示してゐるのに對しこれら就學兒童を收容する小學校は一般地で毎年三十校の割合で創立或は分教場設置を圖り本年度現在數二百七校（うち分校十六校）となり更に年內に百四十五、六校新設が計畫され特に開拓地にあつては昨年僅か三十校に過ぎなかつたのを本年に入つて開校されたもの百五校に達してゐるがなほ充分とはいへぬ有樣でまさに大陸國策の頼母しい反映とはいひ乍ら教育當事者の苦慮は並大抵ならぬものがある

なほ新京特別市では十日を期して市內十校が一齊に本年度入學式を擧行したが、新一年生は一千八百八十五名、昨年の一千七百六十八名に比し百十七名の僅增に止つてゐるとはいへ、上級學年への編入者が少くなく昨年市內小學兒童總數九千三百七名に對して、本年は一萬百七十三名と記錄されてゐるから日系國都市民の一割は第二世たちとみてよいわけである

布哇モーナロアー山の噴火

【ホノルル八日發國通】ハワイの休火山モーナロアー山頂のマクアウエオウエオ火山は七日深更全山噴火、數百呎に達する火柱を空に噴上げ目下全山火に彩られて一大壯觀を呈してゐるモーナロアー山はハワイ諸島中の最高火山で標高一萬三千六百七十五呎、四年前にも大噴火を見たことがある

今冬の石炭對策
手廻しよく… 使用査定委員會

「一日焚かねば一日奉公」のスローガンのもとに新京市民は昨冬より石炭節約を實行、試練の半年を忍耐強く突破したが市公署では早くも今冬の石炭配給圓滑に備へて石炭使用量査定委員會を結成十日午後一時より市公署會議室に於て官需局、滿鐵、房產、大陸科學院、日滿商事、石炭配給組合等關係機關參集準備委員會を開催した

音樂院新事務所

新京音樂院では市公署內事務所狹隘のため練習所確定のため種々適當個處を物色中であつたが、大同公園內舊第二國民高等學校跡を五百圓を投じて改修、十日一部事務局と練習所を同所へ移した

馬盜難

二道河子和順二條二二號馬車業劉江（四三）は九日晩方商賣用の馬一頭（時價三百五十圓）を掻ッ拂はれてゐるのを發見青くなつて長通路署へ屆け出た

忌明献金（寄託）
木村洋行支配人から

市內中央通り三六寫眞機及材料商木村洋行新京支店支配人木村巖氏は曩に三男徹三郎さんを亡ひ、十日その忌明にあたり香奠がへし等を行ふ筈のところ、時局柄献金をもつてこれに代へ且つ追善に資したしと國防献金一百圓、關東軍恤兵金一百圓を本社に寄託 よつてそれぞれ所定の手續きを了した

・木村滿鐵青年學校主事 新任新京滿鐵青年學校主事木村[illegible]氏は十日着任挨拶に來社

散策コースへ 六萬のハイカー
國都觀光機關待機

ふり返した寒さも納つて國都にはいよいよ本格的な麗らかな春が訪れて來た、新京觀光協會では最近激增する入京者たちのために△國都新京案內△新京の栞△新京觀光地圖△躍進新京△新京名所繪はがきなどのパンフレット、地圖繪はがきを作成してゐるが來月早々國都附近のハイキングコースを踏査のうへ全コースに標識を建て春光を愛でつゝ散策するハイカーたちの便宜を圖ることとなつた、現在最も大衆に親しまれてゐる淨月潭コース、石碑嶺コースへは交通會社で五月一日から毎日曜、祭日毎に特別ハイキングバスを三臺乃至五臺運轉する準備が出來てをりその他の寬城子戰跡、金錢堡、南嶺刀家山、競馬場附近、小八家子、大屯、九臺溫泉、土們嶺、青林龍灣山、同江南、同小白山、同歡喜嶺などの諸コースへもダイヤップして觀光バス運轉が計畫されてゐるから春とともに郊外へ郊外へと名所舊蹟を求めて行樂を追ふ人々は飛躍的數字を示すべく一昨年二萬人、昨年四萬人に比して本年度は六萬人は下らぬものと豫想されてゐる

苦闘三十年
滿洲乳業會社設立の喜び 三宅牧場主語る

目下國都で一日に使用する牛乳量は大體二十三石內外であるが人口の超速度的增加に伴ひ今夏あたり相當の不足を來すものと見られるので新京特別市公署に於ては國都市民の保健並に食糧問題解決の建前から相當大規模の酪農會社を創立すべく目下秘密裡にプランが練られてゐるがこれより一足お先に滿洲乳業會社が三宅牧場を母體に明糖、明菓の內地資本が加はり百五十萬圓の資本金を以つて設立されたことは既報の如くで同社々長には三宅濱治氏が就任し常務取締役には明菓から大久保氏が入社し「最も新鮮優良にして低廉」を目標に市民にサービスすることになつた

日露戰爭直後僅か二頭の乳牛をもつて牧場を始めてから三十有餘年血の滲むやうな苦闘をつづけ今日の基礎を築きあげた三宅濱治氏は感慨無量の面持ちで語る

會社組織に改組する問題は一昨年頃から考へてゐたが漸くそれが實現したわけです資本關係は明菓明糖以外他からは入つて居りません、會社の方針としては最も良きものを最も低廉に供給する積りです、三十餘年間隨分苦闘したものです、往時を顧みて感慨無量です

なほ三宅氏は乳牛購入其他の要務を帶びて十日午前八時の列車で夫人同伴內地に赴いたが六月上旬歸京の豫定である

早川醫院
滿洲瓦斯に身賣り

增える社員の住宅に惱んでゐた滿洲瓦斯會社では先般來より長春草分の歯科醫として知られてゐる錦町二ノ七早川歯科醫院主早川武夫氏（三八）と同家屋（煉瓦造り二階建三十餘室）の讓渡交渉中の處この程早川氏との間に同家屋を十四萬圓で買收することに話が纏つた模樣で、同會社では醫院閉鎖後直ちに內部を改造し社員の宿舍に充てることゝなつた

なほ早川氏はこれを機會に郷里久留米市へ引揚げる筈【寫眞は早川醫院】

獄窓へ逆戻り

十日午前二時順天署吉田、高兩刑事が康德會館前道路に停車した豆タク乘客が大風呂敷を抱へてゐるのを發見不審に思つて誰何すると「司法部の王だが一寸質屋に行くところだ」と申し立てたが時間外の質通ひは怪しいと本署に引致取調べを行つた結果司法部官吏とは眞赤な嘘で哈爾濱道裡中須道街生れ住所不定龍德道（二四）と稱し九日新京監獄を出獄その足で早くも竊盜を働いた强か者で十日午後一時頃百滙街百滙莊居住山內圭三氏が便所に行つた隙を狙つて同室から衣類其他五百餘圓を竊取一先づ同室を出て附近空地で山內氏の洋服に着替へ豆タクを拾つて逃走せんとしたところを逮捕されたものである

・戸山觀光局庶務課長 鐵道省國際觀光局戸山庶務課長は在滿觀光關係機關と打合せかたがた視察のため十七日午後五時二十分着あじあで來京十九日午前八時離京の豫定

・金丸牡市郵政管理局長 新設牡丹江郵政管理局長に就任した金丸德重氏は十日零時五十三分發京濱線列車で日滿官民多數の見送りをうけて赴任した

・長春地區本部事務長 滿洲帝國協和會長春地區本部事務長矢口勤氏は協和會興安北省本部事務長に轉出九日後任の司桂章氏と更任挨拶に來社した

・喫茶スズラン開店 吉野町銀座茶苑の姉妹店としてダイヤ街十五屋跡に開店準備中であつた喫茶店スズランは十日より開店したが、經營者は興安通スズラン婦人洋裝店主後藤勝子さんである

團體往來（十日）

△大島村分村移住團 十日午後十一時三十分新臺子へ
△建國大學新入學生團 同午前八時大連から
△濱江省地方警察學校團 同午前六時五十四分哈市から
△錦州師道訓練所生團 同午前八時三十五分奉天へ
△通化師道學校訪日團第二班 同午後十一時十三分奉天へ
△行樂社北支滿鮮視察團 同午後九時四十五分釜山から

今晩の放送

▲七、三〇國民歌謡（大阪）▼七、四〇講演「ドイツ駐在中に於ける感想の一端」河邊虎四郎（東京）▼八、〇〇支那劇物語「汾河灣」近藤伊與吉▼八、三〇新日本音樂「春の夜」他、大連筝曲會社中▼八、五〇人形淨瑠璃「お染久松」竹本相生大夫外

四季を通じて何時いつても滿員なのがニッケのパーラー 從つてサービスの悪い女給仕の多いのもこのパーラーだと云ふ噂だつたがこれはまた意外なる哉これを打消す女給仕佳話がある▼「あの人はナンバー47番内住さんと云ふの、これはお客樣には絶對云へないのよ」と他の女店員I君から口止めされてやつと教へて貰つたこの内住さんと云ふ娘の話である、彼女が去る三日底冷えのする午後お店につてもの樣に元氣で働いてた時、二人連れの客がボックスに入るとその中の一人が急に腹痛を覺えて苦しんでゐる樣子、註文されたコーヒーにホットケーキを持つた儘「これはお腹に悪いわお止しなさい」と商賣を忘れての親切振りにそのお客すつかり氣を良くしてゐると▼最後に「その代りにマカロニとミルクがいゝわ」と云つたので、流石商賣だけは忘れぬとそのやに下がつたお客新たに感服し直したとか……

詩吟、映畫の夕
明夕西廣場倶樂部

春の一夕を東亞の精華詩吟で彩り熱と力の雄叫びを以て興亞を謳ふ新京吟詠聯盟主催、本社後援「詩吟と映畫の夕」は十一日午後六時半より西廣場滿鐵社員倶樂部で開催するが、番組は左の如くである、場内整理料二十錢を徴收する

▲講演(協和會恒吉輔導部長)

▲詩吟國體篇(井原礎石)偶成(谷口伊佐雄)題未定(實森甚太郎)逆元二使安西(樋口八雄)飲某樓(村田正三)滿洲の秋(野崎重孝)書懷(朝武士龍雄)二千六百年(伏見武治)本能寺(村正久)偶成(伊藤愼吾)建國精神(豐本金造)偶成(後藤英夫)城山(沖小三郎)大楠公(津田謙)書懷(藤原岡惠)本能寺(津野錦靜)城山(濱崎行夫)誓歐亞兩斷(宮下春雄)爾靈山(鹽見幸一)金州(櫻井忠一)二千六百年祭(秋山平八郎)爾靈山(新見海風)吉野懷古(德田榮之助)大和心(上原嘉一)大楠公(濱田新吉野懷古(井黑亭)同(齋藤富男)弔戰友(宮崎辰三郎)櫻花詞(福島平助)僧月照墓前作(竹之脇凱洲)明治天皇御製(西川包弘)警世(電々支部合吟)滿洲の月(松下寒風)過零丁洋(千葉靜翠)初到建寧賦詩(齊藤善治)正氣歌(辻禮風)

▲映畫「無軌道支那」現代劇「險の子守唄」喜劇「ロイドの爆彈將軍」

滿人の間では李明が第一位
滿映スター人氣

映畫スターの人氣調査はブロマイドの賣行きからといふのがまづ東西を通じての目安であるが滿映スターを三月一杯のプロ賣上枚數から調査すると日滿通じての人氣筆頭は李香蘭、ついで最近北京から返り咲いた李明、滿系に凄い人氣のある季燕芬(この味は日系では解されぬらしい)といつたところで次の數字を示してゐる(數字は賣上枚數)

△李香蘭五六四七△李明三七三九△季燕芬三五四一△鄭曉君一六〇四△李鶴一四三二△張敏△趙玉佩△王麗君△孟虹△葉苓

ところが滿洲煙草と電々とがタイアップして昨年六月から開始した滿映スターカード入り煙草「萬壽牌」によるお好みスタープロマイド進呈の三月末〆切りは李明が飛び離れて優秀で少し離れて季燕芬第三位の李香蘭は大分かけ離れてをり彼女の滿洲離れした演技が母國で餘り歡迎されぬことを物語つてゐるのは興味深いものがある

△李明七二二五〇△季燕芬六一三二六△李香蘭四六五八四△孟虹四〇九五〇△鄭曉君二九八八七△李鶴△姚鷺△趙玉佩△張敏△趙愛蘋(寫眞は李香蘭(上)と李明)

五郎劇「葉櫻」

▽▽廿年前に妻子を棄去りにした義太夫流しの龜松が、二十年目再び櫻の大樹の元へ訪れる、大樹の側の農夫の兼松は龜松とは昔馴染み、そして何も彼も知つてゐた、そこで計らずも龜松は昔の妻子に逢ふが父と名乘れない龜松は義太夫流しで淨瑠璃の一節にかこつけて苦衷を語る 五郎卅六快笑の一、十四日より西廣場倶樂部上演

藝能祭劇映畫大作品出揃ふ

日本文化中央聯盟主催、藝能祭劇映畫コンクール出品作は日活の「歷史」松竹の「西住戰車長傳」がいづれも着々撮影中であり、東寶の「海軍爆擊隊」も既に現地ロケを終了、この三作の出品確定に對し殘る新興、大都、東京發聲は未だに着手せず、出品を危まれてゐたがこれら三社も萬難を排して出品を急ぐこととなり棄權は皆無、五月末までに全部出揃ふことになつた、ちなみに三社の豫定は東京發聲の豐田四郎演出「小島の春」新興東京の太平洋行進曲「海に生くる人々」大都の「祖國」である、なほ出品締切は事實上の六月第一週たる五月三十一日に封切しても間に合ふ譯である

樂團『3協』結成

作曲、演奏、鑑賞の三部門の協力を主眼とした樂團「3協」が、山本直忠氏の主唱により今度結成され、事務所を淀橋區下落合四の二一五〇の同氏方に置き、五月一日(水)七時から日本青年館で第一回作品發表演奏會を開き、OB交響樂團、東京グレゴリオ聖歌會ローゼフエライン女聲合唱團及び指揮の有島重武、東章夫兩氏、ピアノの黑田睦子、續木雛子兩孃が出演、指揮、作曲、合唱、演奏の發表を行ふこととなつた

鏡花遺作小唄の作曲家探し

天才鏡花逝いて一年、こんど鏡花未亡人の手によつて篋底から發見された自作の小唄、端唄の類が頗る鏡花色の濃い傑作なので、久保田萬太郎、寺木醫師等の骨折りで目下作曲家を選定中曲のつき次第某レコードに入れることになつてゐるが、この遺作に添へて、久保田萬太郎氏が『婦系圖』里見弴氏が『照葉狂言』佐藤春夫氏が『日本橋』をそれぞれ分擔で作詞、これも適當に作曲して同時發表することゝなつた

雜音

長春座のアトラクションをのぞく、滿洲ビクター賣出しの楊絮と水町純子の唄ふ舞臺甚だお粗末低調なもの▼よくあれでマイクの前に立てたと思ふ、下手の長談義に似て聞き通すには相當の忍耐を要する▼宣傳はいゝが、あれでは本當に實のあるものを揚げた時に効き目がなくなる、宣傳に騙されるといふことはあるが、どうやら今度は宣傳が騙された態だ▼なほこゝには後にOKショウの返り打ちが十四日からあり、次いで淺草〆香、靜ときわ、河合はるみにあわてたぼういずを合同した一行、曾我廼家辨天一行の喜劇▼五月には淡谷のり子の相次ぐ來演が豫定されてあり、宣傳も考へてやらぬといゝものを殺す結果となる

近藤勇

橋爪彦七
西正世志畫

（百八十四）

甲州崩れ　（四）

笹子峠を越えて、江戸へ、の道を戻つてゐる勇は、いつか、歳三と別れ別れになつてゐた。

一緒に──といふ歳三を無理に先へやつて、自分は五六の隊士と馬上で、落ちのびて來てゐたのだつた。

『川村』

馬上で、勇が呼んだ。

川村隼人が、

『は』

と、答へると、

『春だなア』

さう云はれて、川村はじめ、一同が、ぽかぽかと暖かい陽が背中にあたつてゐるのに氣附いた。

夜をかけて、一睡もせずに歩きとほしてゐる軀は全身が燃えるやうに熱をもつてゐた。

勇は、急に、

『休まう』

と、云つた。

『敵が……？』

と、川村が危ぶむのへ、

『來たら來た時のことだ。少し休まぬと、仆れる』

實際、人々は、たゞ意志だけで歩いてゐたのだし、誰もが、休息に反對する氣持は無かつた。

江戸を出る時は、新選組の隊士だけでも四十四名だつたし、それに新徵の二百その他に、結城の兵や、甲州の兵なども居たし、天晴れ一戰をやるつもりの鎭撫隊が總崩れのみぢめな敗軍なのだ。

永倉や原田も居ないし、齋藤や尾形も居ない。あの人を斬ることの好きだつた大石鍬次郎はどうしたか？

勇は、餘りに淋しい自分の周圍をつくづくと見廻した。

『相馬は居るな』

『はい』

と、相馬主計が答へた。

『誰か、みんなで眠るやうな場所を捜して來ないか』

『捜りました』

相馬が答へて　道を、崖の下へ降りて行つた。

暫くすると、反對の方角から、戻つて來て、

『その先の岐道に曲ると、いゝ按配の窪地がありますす』

と、報せて來た。

『よからう、其處まで』

勇は、もう馬に乘らずに歩いてゐた。

『これアいゝ』

と、眞ッ先に、川村隼人が駈けて行つて、芝の上に轉がつた。

『いゝ所だ』

勇も、立木に馬をつなせて、其處へ軀を投げ出した。

相馬が、

『川村さん、他の人達はどうしたらう？』

『さア……』

勇が、

『みんな落ちたらう。土方に從いて行つた者もあつたし、大がい彈丸には當らなかつたから──』

誰かゞ、

『慘めだ──』

と、呟いた。

『まつたくだな』

と、勇が云つて、

『ともかく、みんな眠るがいゝ、この温かい太陽の下で、ぐつすりと一眠りすることだ。見張りは拙者がしてやる。現在の近藤には、せめて眠りを與へるだけのことより出來んのだ』

『いえ、見張りは私がやります』

と、相馬が云つた。

『いかん』

勇は、首を振り動かして

『何も云はずに眠れよ。さ寢ろ寢ろ──』

一人二人と、人々は、だんだん草原へ横になつたまま、深い眠りに誘はれて行つた。

『眠つたな……』

勇は、慈愛に滿ちた眸でしづかに眠る人々の顔を見戍つた。

『慘めな──敗軍か』

誰にともなく呟いた。

商況

十日前場

▲海外經濟電報

品目	相場
倫敦金塊	一六八志〇〇
倫敦銀塊	二〇片二分一
同　先物	二〇片二分一
紐育金塊	三五弗〇〇〇
同　銀塊	三四仙四分三

▲外國爲替

品目	相場
米英爲替	三弗四七仙四分一
米日爲替	二三弗四七仙
米支爲替	六弗二五仙
英日爲替	一志三片三分元
英支爲替	四片四分一
英佛爲替	一七六法五〇
米獨爲替	四〇仙二〇

▲紐育株式

品目	相場
スチール株	六三弗二分一
アナゴンダ	三一弗八分三

▲紐育棉花

限月	相場
現物	一〇仙九三
五月限	一〇仙七二
七月限	一〇仙七八
十月限	九仙九八
十二月限	九仙八四
一月限	九仙八〇
三月限	九仙七二

▲印棉

品目	相場
ブローチ	二五六留比〇〇
オームラ	二三九留比四分一
ベンゴール	二〇五留比四分一

各地株式市況

▲東京株式（短期）

銘柄	寄付	大引
東新	一四六一	一四八[illegible]
大新	七六六	七六九
鐘紡	一七〇	一七[illegible]
同新	一三五九	一四六二
帝新	一二四三	一二四九
洋新	九四五	九六六
日曹	七六〇	七四四
日鑛	八七七	八七九
同船	一一九	一二四
日新	九五	九七九
日石	八四四	八五三
滿業	一〇一	一〇〇〇
日立	[illegible]	[illegible]
雷工	八〇二	八一五
東電	—	—
日電	六六〇	六五九
滿鐵	—	—
日新	八〇	七九九
糖新	—	—
日曹	六九一	六九八

▲大阪株式（短期）

銘柄	寄付	大引
大新	七六四	七七二
新東	一四三四	一四三一
鐘紡	一七四九	一七六四
同新	—	—
日蠶	八九	八〇九
帝新	七五八	七五八
日新	一一三	一一三〇
阪船	一〇六九	一〇八五

▲大連株式（短期）

銘柄	寄付	大引
五品	三一九	三一八
大新	七七〇	七六八
新東	一四六四	一三六六
取新	八二五	八一五
鐘紡	一七七	一六六
同新	一〇七	一〇五八
滿鐵	八〇	八〇
土木	三六八	三六六
豆新	—	—

各地商品市況

▲大阪綿布

限月	前場	後場
四月限	三六〇	三六〇
五月限	三六〇	—
六月限	四〇〇	—
七月限	四一四〇	—
八月限	四一三五	—
九月限	四三二〇	—
十月限	四三五五	—

▲東京人絹

限月	前場	後場
當限	—	—

▲大阪棉花

限月	前場	後場
四月限	七八五〇	—
五月限	七八五〇	—
六月限	七八四〇	七九五〇
七月限	七七九五	七九〇〇
八月限	七八〇〇	七九一五
九月限	七七五〇	七八四〇
十月限	七七八〇	七九八〇

▲大阪期米

限月	前場	後場
當限	—	—
中限	—	—
先限	—	—

▲大阪人絹

限月	前場	後場
當限	—	—
五月限	—	—

▲濱濱生糸

限月	前場	後場
六月限	—	—
七月限	—	—
四月限	一五四九	一五六〇
五月限	一五四九	一五七〇
六月限	一五五九	一六〇〇
七月限	一五七九	一六〇一
八月限	一五八〇	一五九一
九月限	一五七〇	—
	一五三〇	

木曜　甲申　赤口　定　奎宿

舊三月四日　四月十一日

東京・本郷・神誠館

●一白の人　心志の動搖を防ぐべき日金談は效あるの兆　甲と丙と坤が吉

●二黑の人　意外の幸運に惠まるゝ日婚約金談起業皆吉　丙と庚と壬が吉

●三碧の人　奮起して功績擧り元氣益々加はる有望の日　丙と丁と寅が吉

●四綠の人　福利增進し名譽高まり地位向上する大吉日　丁と艮と寅が吉

●五黃の人　內事は差支なきも外事注意せざれば失敗　庚と辛と壬が吉

●六白の人　萬全の策を立てし樣にても猶欠陷あるべし　酉と壬と癸が吉

●七赤の人　利慾に池せんより義理人情を欠かぬが宜し　庚と壬と癸が吉

●八白の人　辛苦せし報の漸く現はれ來らんとする吉日　辛と壬と癸が吉

●九紫の人　諸事靜穩を保つべき日計畫事は他日に讓れ　丙と酉と寅が吉

新京日日新聞
朝刊
（本紙朝夕刊十二頁）
發行所 新京日日新聞社

輝く建軍の精華

國防確立に鐵壁

劃期的國兵法公布

日滿協同防衛、國家總力の發揮を期して企畫された滿洲國人民總服役制度については過去一ヶ年間に亘り關東軍、政府、協和會その他官民關係者を網羅してこれが審議委員會並に幹事會を組織愼重審議を行つた結果、人民總服役制より公役制を分離、徵兵制に依る國兵法のみを實施することに根本方針を決定この程關係法令の作成をみたので、九日皇帝陛下御臨の參議府會議で通過をみ、國民性格の大變革ともいふべき歷史的な國兵法は愈よ十一日公布十五日より實施されることとなつた、國兵法の全貌は二面所載の如く總則、服役、徵集、雜則、特典、罰則の四章全文四十八ヶ條より成つてゐるが、公布と同時に張國務總理は談話の形式をもつてこれに對する政府當局の不拔の信念を表明するところあつた、今後政府では協和會と全面的な協力のもとに一般人民に國兵法實施の趣旨を徹底すべく一意邁進することとなつてゐるが滿洲國が近代的國家としての體容整備、國防の確立を示すこの輝かしい歷史的成果は國外に對し滿洲國の不當なる認識を是正せしめ、國內に對しては正しき滿洲建軍の精神を理解浸透せしめ、國民意識の統一上劃期的意義を有するものとして期待されてゐる

完璧の徵兵制確立

聖旨に答ふ張國務總理談

張國務總理

十一日國兵法公布に當りて政府は張國務總理談の形式をもつて左の如くその歷史的意義の內容を明かにした

本日茲に千古不拔の大典たる國兵法の公布をみたるは邦家の爲洵に慶賀の至りである、公布に際し畏くも優渥なる上諭を賜りたることは國民の齊しく恐懼感激に堪へざるところである、惟ふに世界何れの國を問はず强國には必ず精銳なる軍隊あり、精銳なる軍隊なくして國土の保全民生の振興は期し得ないのである、政府は玆に於て內外の情勢に鑑み建國以來の募兵制度を變改し劃期的なる國兵制度を確立せんか爲め一ヶ年に亘り愼重審議の結果曩に決定せる兵役制度要領に基き國兵法及その附屬法令を制定公布したのである、蓋し本法は日滿協同防衛の本義に基き精銳なる國軍を建設し人民の中堅を練成せんが爲め現下の國情及民度を考慮して精兵主義に依る我が國獨特の徵兵制度を確立し、尙これに伴ふ必要なる諸般の處置を講じ、以つて本制度實施の完璧を期し、國防の强化國運の隆昌に資せんとするに外ならぬものである、我が官民は克く本法の趣旨を體し、奉公の誠を至し以つて深厚なる聖旨に答ふることを期さねばならぬ

日滿支經濟ブロック强化

北京で各省次官會議

【東京國通】鈴木興亞院政務部長は約二週間の豫定をもつて北支ならびに中支各方面視察のため來る十五日空路北京に向ふことゝなつたが、これを機會に大野、大藏、荷見農林、岸商工、大和田遞信、田中拓務各省次官ならびに植村企畫院次長等も鈴木部長と同行し十七日若しくは十八日より三日間北京において現地關係各省次官會議を開き森岡華北、竹下蒙疆各連絡部長官柴田靑島出張所長以下各現地關係官、民間より賀屋北支開發會社總裁等が出席し日滿支經濟ブロックの强化に資するため現地經濟事情を中心に討議を行ふことゝなつた

なほ右各省次官のほか外務省からは次官代理として局長級が出張するはずで現地において事務次官

國軍武官團東京着

【東京國通】ノモンハン事件で赫々たる武功を樹てた滿洲國第〇軍司令官烏爾金中將以下の日本見學の滿洲國軍武官團二十名は九日午後八時廿六分上野驛着列車で新潟より入京した、驛頭には阮駐日大使のほか日滿軍官民多數出迎へた、なほ一行の滯京中の見學日程は△十日宮城遙拜、滿洲國大使館を訪問、靖國神社明治神宮參拜、陸軍省參謀本部訪問△十一日第一陸軍病院慰問、東京幼年學校△十二日陸軍士官學校△十三日自由行動△十四日多摩御陵參拜△十五日自由行動△十六日午前九時特急つばめで名古屋に向ひ關西、九州方面の軍需工場見學、陸軍病院慰問を行ふ

靖國神社參拜

【東京國通】日本見學滿洲國武官一行二十名は十日午前十時宿舍松屋旅館を出發宮城遙拜を終へて麻布櫻田町の滿洲國大使館を訪問、晝食を濟し午後は靖國神社明治神宮に參拜した

訪伊使節船出

【神戸國通】イタリーとの親善と經濟關係の緊密化を圖らんとする訪伊使節團佐藤尙武、小林一三の兩代表等一行を乘せた郵船榛名丸は十日午後三時埠頭を埋める國民の歡聲に送られ、船腹の日の丸も鮮かに神戸港を解纜、一路歐洲に向け鹿島立ちした

國民使節代表

【東京國通】國民政府還都慶祝のため派遣される慶祝國民使節は旣報のほか對支團體代表として同仁會副會長宮川米次氏、大日本靑年團理事栗原美能留氏、大亞細亞協會理事中谷武世氏の三氏を追加十日正式に發表された、尙慶祝使節の代表は永田秀次郎氏に決定した

汪氏南京歸還

【南京十日發國通】行政院長就任後初の北支、蒙疆巡視の旅を終へた汪精衞氏一行は十日午後一時空路南京に歸還した

電撃の獨軍

東南歐へ進撃態勢

【ブダペスト十日發國通】ドイツの北歐作戰開始と共にバルカン諸國への波及が危惧されてゐるが、九日ハンガリー政府某高官の確言する所に依ればドイツ政府はダニューブ流域諸國に對しドイツがダニューブ河に依る石油食料輸送をドイツ海軍の砲艦を以て護衞することを許可するやう要請した、ハンガリー、ユーゴースラヴイア、ブルガリア、ルーマニアは何れもこのドイツの要請を受諾する他なきものと信ぜられてゐる、他方ブダペストに達した情報に依ればウイン、ブダペスト鐵道のドイツ、ハンガリー國境驛ヴルック附近にはドイツ軍七個師團總兵力約十萬が集結中であると傳へられ、又舊ポーランドのクラカオ附近にも約十萬八千から成るドイツ軍三個軍團が待機中であるといはれる、この兩方面におけるドイツ軍集結につき當地ドイツ人筋では何等作戰的意味は無いと稱してゐるが、消息筋の間ではこれ等軍隊は必要とあれば直に東南歐方面に行動を開始し得るの位置にあることを指摘してゐる

獨諾和平交渉開始

【ストツクホルム九日發國通】ドイツ軍の進攻に直面してノルウエーの運命を決すべきノルウエー議會は九日假首都ハマル東方のエルベルムにおいて開かれ首都のハマル還都及びドイツの和平交渉開始を議決しノルウエー政府は議會の決議に基きコート前外相以下四名の和平交渉委員を任命、委員一行オスロ、エルベルム間の某所において會見の上交渉を開始することゝなつた、なほ英海軍當局は作戰上から右公表を極力避けてゐる

輸送獨軍溺死

【アムステルダム十日發國通】十日當地に達した情報によれば豪華をほこるドイツの巨船ブレーメン號（五〇、〇〇〇噸）はドイツ軍の輸送中、英潛水艇のために爆沈され、輸送中のドイツ軍千五百人は溺死したと傳へられる

諾西岸要衝猛爆

【ロンドン九日發國通】九日ロンドンに達した情報によればノルウエー西海岸の要衝クリスチヤンズンドは目下ドイツの空軍の猛爆を受けつゝあり同方面の戰鬪は正午に至るも尙猛烈に續行されてをると傳へられる

伯林に明朗色

【ベルリン十日發國通】ドイツの北歐に對する作戰開始は全く豫想されてゐないところであつたためドイツ國民に對し電擊的衝動を與へドイツ軍進擊の報が九日午前十時半より突如外務省に招集された國際記者團との緊急會見の席上リツベントロツプ外相より發表され引續きラヂオを通じデンマーク、ノルウエー兩國軍事基地の占領に關する軍司令部の發表が放送されてはじめて事實が明らかにされたこれに引續きゲツベルス宣傳相自身マイクを通じ兩國に對する通告內容を反復放送し、事態の重大なることを說明し、ドイツ國民の注目を促した

又ドイツ政府としても極力事態不擴大方針を示唆してゐたのでこの突然の軍事行動の發表は各方面に稍悲壯な衝擊を與へたが暫くの後ドイツ軍成功の報が續々放送されると共にこれ迄の不透明な戰局の發展に頓に神經を焦立たせてゐたドイツ國民の感情の堰はどつと打破られベルリン市中は明朗な氣分に湧き立つてゐる街頭のラヂオの前には刻々發表される戰況ニユースを待ちわびながら市民が集り丁度昨年九月開戰當時さながらの風景を呈してゐる、北歐を一氣に席卷したドイツの進擊作戰に對し猛牛英國が如何なる方策に出るかドイツ國民は次の戰局發展を期待を以て靜かに見守つてゐる

興農合作社中央會誕生

興農合作社中央會發會式は十日午前十時より金融合作社聯合會に於て張國務總理、呂產業部大臣、韓經濟部大臣、松田同次長、薄田、谷兩總務廳次長、田中中銀總裁等官民約四十名列席の下に開催、先づ小平理事長の開會の挨拶に次いで新合作社設立に關する經過報告並に出席者の祝辭あつて後同五時散會【寫眞は發會式】

張總理祝辭

興農合作社中央會發會式に於ける張國務總理大臣の祝辭左の如し

茲に興農合作社中央會の設立を見全國民待望裡に之が發會式の擧行せらるに當り一言祝辭を述ぶる機會を得たるは本職の頗る欣幸とする所なり惟ふに政府が農事金融兩合作社を統合して興農合作社を設立する所以のものは進展して止まざる吾國農村及び農業の實態に即應すると共に他方に於ては宜しく農家の協同精神を基調として農事の改良發展を圖り農家の福利を增進し以て國家全體經濟の發展に資せしむるにあり、依つて興農合作社は吾國農村經濟の基本的組織たるの地位を有し之が運營の如何は農村の振興延いては國運の發展と至大の關係を有するものと言ふべく本中央會は右の如き重大使命を有する興農合作社の中樞指導機關として會員たる聯合會及び單位合作社の連絡を緊密にし其業務の遂行を圓滑適正ならしむると共に之が觸ふところを歸一せしめて運營の完璧を期し以て初期の目的を達成せしむべき責務を有す、役、職員各位は上述の趣旨を充分了解して理事長を中心に克く和衷協力し熱烈なる氣魄と高邁なる識見とを練成し小異を捨て大同に就くの雅量風調を作興し衆議一度裁さるゝに於ては私議論難する事なく一意之が具現に邁進し以て興農合作社の健全なる發達に傾到し國家の期待に副はんことを切望してやまざるなり

桂地方處長轉職辭任

桂地方處長は一身上の都合で日本內地へ轉職方を希望してゐたが、十日の日本側部長級異動に於て靜岡縣警察部長を發令され、滿洲國政府で所要の手續を採り一兩日中發令の段取りである、なほ地方處長の後任は至急中央方面より物色、任命される【寫眞は桂處長】

木內琿春領事着任　琿春日本領事館に新任の領事木內忠雄氏は八日午後一時着任、牡丹江領事に榮轉の前琿春領事瀧山靖次郎氏は事務引繼ぎ終了の上十二日午前二時發列車で任地牡丹江に赴任する

聯銀券の國內流通禁止

けふ對策會議開催

北支方面の物價高により滿洲國よりの糧穀密輸はおびたゞしき量にのぼり、これが代金として聯銀券が國境方面に流出してゐるので、滿洲國政府はこれが對策につき協議を進めてゐたが、その成案を得るに至り十一日午前十時より總理官邸に總務廳、經濟部、中銀その他關係者參集最後的協議をして直ちに北支當局と連絡をとり所定の手續を經て實施することになつた、その方策としては密輸の取締を强化するとゝもに聯銀券の國內流通を禁止する一方現在流通の聯銀券の回收に萬全の對策を講ずる法的措置をなすものと見られる

教職員學生の勤勞奉仕を涵養

農產物增產運動へ

敬農愛耕

民生部では一昨年五月實施した新學制の根本義に基き學校體系の各部門各段階に亘つて勞作教育の徹底を期し學生の身體を鍛錬して旺盛なる活動力を涵養すると共に勤勞愛好實踐躬行の資性を啓培もつて質實剛健なる國民精神を涵養すべく本年度は昨年度から實施の學校教職員學生勤勞奉仕運動の恒常化を圖ると共に特に學校の種別を問はず農產物增產運動に一翼として農事勤勞作業を實踐せしめ敬農愛耕、勤勞尊重の念を厚くし農產物增產運動に協力せしめることゝなり、教育司において豫て實施要綱の作成を急いでゐたが、この程漸く成案を得るに至つた、その大要は先づ農事勤勞奉仕作業を各地適應の方法によつて組織的計畫的に實施するため各省新京特別市及び市縣旗に農事勤勞奉仕指導委員會を設置しその統制の下に各市縣旗を作業單位として國立、省立、市縣旗立または私立等の區別なく勤勞奉仕を行ふことにあるが、省指導委員會においては

一、管下に於ける農事勤勞奉仕の全般的實施計畫樹立に關する事項

二、作業用具の調達配分に關する事項

三、作業成績優良學校の表彰に關する事項

また市縣旗指導委員會に於ては

一、農事勤勞作業種目、作業地及び作業期間の決定並に各學校に對する割當に關する事項

二、農事勤勞作業實施に關する事項

をそれぞれ處理せしめ作業種目に關しては學生の體力作業の難易及び現地特殊事情等を參酌して除草、間引病虫害驅除、播種を、また作業用具配分については

1、國民學校（第四學年に限る）國民優級學校＝小型除草器、學生數の四分ノ一

2、中等程度以上農科學校＝大型除草器、學生數の約四分ノ一

を以てし勞作費（學生に對する間食、保健等の費用）として民生部より初等學校學生一人當り二角、中等程度以上の學校學生には一人當り三十錢の支給を行ふほか、農事勤勞奉仕の成績優良なる學校は民生部大臣より表彰されることになつてゐる

東亞經濟懇談會滿洲本部結成

新東亞建設に拍車

新東亞建設に拍車を加へるべく三國經濟提携を企圖して昨年日滿支三國有力經濟人を以て組織された東亞經濟懇談會滿洲本部の結成は愈よ準備成り十日午後五時新京ヤマトホテルに於て結成式を擧行、參會者は滿洲本部丁鑑修氏以下各會員並に關東軍參謀長（代理）呂產業部大臣、韓經濟部大臣薄田總務廳次長を始め廣瀨電々、田中中銀、坪上滿拓富田興銀各總裁その他在滿朝野知名士を網羅、丁滿洲本部長の挨拶に次ぎ

一、滿洲本部規則

一、滿洲本部より本會役員顧問及參與推薦

一、滿洲本部役員決定

の各件を審議夫々可決、續いて參謀長、產業部、經濟部各大臣の祝辭、對滿事務局長、日滿實業協會長八田嘉明氏、東亞經濟懇談會長鄉誠之助男等よりの祝電朗讀あつて同六時散會、東亞經濟聯盟滿洲本部は輝やかしき第一歩を踏み出した、各役員左の通り

一、東亞經濟懇談會役員

理事　丁鑑修、富田勇太郞、石田武亥、加藤明

監事　高橋康順、王荊山

評議員　丁鑑修、高橋康順、石田武亥、張延閣

加藤明、富田勇太郞、廣瀨壽助、馮涵淸、坪上貞二、王荊山、石崎廣治郞、石橋米一

參與　三浦一、孫化南、加藤治雄、栗田二郞

顧問　田中鐵三郞、鮎川義介

二、東亞經濟懇談會滿洲本部役員

理事（滿洲本部長）丁鑑修（副本部長）富田勇太郞、石田武亥、高橋康順、加藤明、石崎廣治郞

監事　王荊山

評議員　丁鑑修、高橋康順、石田武亥、張延閣、加藤明、富田勇太郞、廣瀨壽助、馮涵淸、坪上貞二、王荊山、石崎廣治郞、石橋米一

參與　三浦一、孫化南、加藤治雄、栗田二郞

顧問　田中鐵三郞、鮎川義介【寫眞は結成式】

日滿農政例會

日滿農政硏究會では十日午前十時より軍人會館において第一專門委員會第六回例會を開催、石坂常任幹事の挨拶に引續き議題として

一、全農產物需給推算に關する總體的硏究

一、農產物作付に及ぼす價格關係の影響

一、立地條件に關する硏究

等につきそれぞれ報告が行はれた

外務辭令

【東京國通】外務辭令十日左の如く發令

總領事（漢口）花輪義敬
南京在勤を命ず

總領事　花輪義敬
兼任大使館一等書記官
中華民國在勤を命ず

外務書記官　伊藤隆治
任總領事
漢口在勤を命ず

外務書記官　高岡禎一郞
通商局第五課長兼務を命ず

人事往來

▲伊賀歌吉氏（釜山會社員）十日東京ヤマトホテル
▲若山正義氏（吉林商工公會理事）三國ホテル
▲吉林隆氏（圖們東興銀行重役）同
▲方奎煥氏（同）同
▲川合昭勝氏（營口マグネシューム社員）同
▲野田孝氏（大連電業社員）同
▲加藤日吉氏（營口稅關長）同
▲野中忠太氏（奉天滿洲土地建物會社重役）同
▲龜山享二氏（奉天日本火災社員）同
▲木下主夫氏（哈爾濱官吏）同
▲高橋菊雄氏（同）同
▲佐々木謙次郞氏（鑛業事務所）松屋ホテル
▲西本正男氏（笠置發電所員）同

社說

獨の丁抹進擊

フインランド問題が一段落を告げた後には、バルカン問題が登場するものと一般に豫想されてゐたが、事態は豫想を外れしめて、獨逸のデンマーク進擊といふ突然行はれた行動によつて戰局の新しい展開を見るに至つた。思ふに近時西部戰線を膠着狀態に置いたまゝ交戰各國は外交的策動にあらゆる努力を傾け來つたのであるが、獨逸がソ聯との提携を堅うし一方伊太利との連絡に努めつゝあつた時英國はしきりに獨逸封鎖のための强硬對策に出て、そのためには中立諸國が迷惑を被らうともこれを忍んで貰ふといふやうなことをまで公言してゐたのである。かかる英國の出方に對して獨逸側として何らかの對抗策に出る必要が感ぜられてゐたであらうことも容易に想像されるのである。すなはち獨逸はこゝに新しい一石を置いたのである。局外者から見れば、粗暴に過ぎるやうな感もあるのであるが、國運を賭して戰つてゐる獨逸にすればかかる行き方もやむを得ぬとするのであらう。マルスの神の暴れるところ、平常の道德觀などは何處かへ吹つ飛んでしまふのであらう。

報道によればデンマークは脆くも敗れつゝあるやうである。すでに屈服を肯んじたとのニユースもある。自國のみの力を以てしては精銳獨逸軍に敵し難いことは明瞭であらう。然らば英佛のこれに對する援助如何といふことが問題になるのであるが、この度の場合、英國は著しく立ち遲れてゐるやうであるから、今となつてどれだけの援助が出來るかは甚だ疑はしいとせねばならぬ。それに若し英佛が兵力をデンマークに割くとなれば、それはそれだけ他の場所に於いて已れの勢力を減殺することを意味する。獨逸とてもそれを狙つてゐるに違ひないのである。

デンマークの次はノルウエーが問題とならう。すでにしてデンマークが獨逸に押へられてしまふならば、フインランドがあのやうになつてゐる現在、ノルウエーもまた何ら爲し得る所無いやうにならざるを得ないであらう。北歐に來たこの暗憺なる時勢は、われらの心情よりすればこれら北歐人のために轉た同情の念に堪へないのである。

ともあれ、獨逸のこの進出によつて、歐洲の戰局には新しい形勢が導き出されるであらう。英國の焦慮、果してデンマークを救ひ、已れの獨逸封鎖線が確立し得るかどうか、われらは遙かに事態の推移を注視したいと思ふ。

待望の國兵法けふ公布

奉公の誠を致し 建國の本義を貫徹

優渥なる上諭發せらる

全國民待望の國兵法は十一日左の通り優渥なる上諭と共に公布された

上諭

夫れ國本の固きは必ず國民の一心に賴り國運の競ふは必ず國軍の精强を恃む是を以て古者兵を農に寓し通國の民を擧げて悉く干城の任に充て斯土を踐む者をして咸な捍禦の責を奉じ斯毛を食む者をして咸な稼穡の務を重んじ念々國を離れず事々公を忘れず治に居て備あり警を聞て患なからしむ良法美意歷々徵すべし我が國盟邦日本帝國と夙に一德一心の誼を以て申ぬるに共同防衞の約を以てす國軍の制其の根本方針に於て固より毫厘の出入を容さず矧ん東亞の現形曠古の創局惟だ我が兩國の力を待て其の興廢を決するをや朕深く之に鑒み玆に精銳なる國軍を建置し人民の中堅を練成せんがため組織法第三十六條に依り參議府の諮詢を經て國兵法を定め有司をして公布昭示せしむ爾衆庶其れ宜しく克く本法の眞意を體し審かに時運の進展を察し獻國の志を奮ひ奉公の誠を致して千載不拔の國本を固くして萬邦具瞻の國運を揚げ以て我が建國の本義を貫徹すべし此を欽め

御名御璽

康德七年四月十一日

國務總理大臣

治安部大臣

民生部大臣

國兵法

第一章　總則

第一條　帝國人民たる男子は本法の定むる所に依り兵役に服する義務を有す但し同盟國の國籍を有する者は志願に依りてのみ兵役に服す

第二條　志願により兵籍に編入せらるゝ者の兵役に關しては勅令の定むる所に依る

第三條　六年の徒刑又は禁錮以上の刑に處せられたる者は兵役に服することを得ず

第二章　服役

第四條　兵役は三年とし國兵として徵集せられたる者之に服す

國兵は服役期間之を在營せしむ

第五條　國兵にして左の各號の一に該當する者の在營期間は軍事上妨げなきときに限り勅令の定むる所に依り一年以內之を短縮することを得

一　在營三年を要せざる兵種に屬する者

二　教養ある者にして在營中の成績優秀なる者

三　治安部大臣に於て特別の事由ありと認むる者

第六條　國兵にして在營中定員に對し過剩と爲りたる者の在營期間は之を短縮することを得

第七條　前二條の規定に依り在營期間を短縮する場合に於ては服役期間內に未入營期間又は休伍期間を置く

第八條　國兵として徵集したる者は徵集したる年の翌年四月一日に之を入營せしむ但し戰時又は事變の際其の他必要ある場合に於ては此の限に在らず

第九條　服役期間は國兵として入營したる年の四月一日より之を起算す但し犯罪の爲又は正當の理由なくして後れて入營したる者に付ては入營の日より之を起算す戰時又は事變の際其の他必要ある場合に於ては前項に規定する起算の日を變更することを得

第十條　國兵（國兵として入營すべき者を含む）にして疾病其の他身體又は精神の異常に因り兵役に堪へざる者に對しては兵役を免除す

第十一條　國兵にして入營……

第三章　徵集

第十二條　帝國人民にして前年十二月一日より其の年十一月三十日迄の間に年齡滿十九年に達する者は……

第十三條　家長又は治……

國兵法施行令全文

第一章　志願に依り兵籍に編入せらるゝ者

第二章　服役

第三章　兵役免除

第四章　徵集

第五章　雜則

家庭

玩具の色彩は明るい青、黄、赤
與へ方にも注意が肝要

玩具にはいろんな種類がありますが、子供の世界になくてはならぬものだけに教育的に見て有效であり、衛生上無害でまた藝術的であることが最も望ましいことです

・玩・具は子供の年齢や心身の發育の程度に從つて選ばねばならぬことは勿論ですが、一歳から三歳ごろまでは感覺と運動を練習するものがよく、四歳から六歳ごろまでは更にその上に模倣、想像、同情心、美的感情を培ふやうなもの、七歳以上は知覺、記憶、推理、意思を練るやうなものを標準とせねばなりません【寫眞は赤ちゃんと玩具】

・衛・生上から申しますと先づ材料の選拔が第一で幼兒には殊に消毒に便利なものが必要でせう、一般にゴム、陶器、木製等は消毒にも手間が要らず煮沸消毒が最も適當です、繪具などはうつかりすると子供に中毒を起させる原因となるものですから、色の剝げるものは先づ危險と考へねばなりません、黄、白、紫等は比較的無難ですが緑や青には銅毒があり、同じ黄でも中には恐ろしい砒素を含んでゐるものもありますから注意を要します

・形・の尖つてゐるものは怪我し易く、ガラス製品などもよほどしつかりした物でない限りは避けなければなりません、形もあまり小さいものは嚥み込むおそれがあります、一般に構造の素朴なものがよく、あまり裝飾的なものは感心出來ません、色彩も毒々しいものを避け、しかも子供の喜ぶ明るい青、黄、赤等を選ぶべきです、又玩具の與へ方ですが、一時に澤山與へるのは差控へねばなりません、子供は大人よりも飽きつぽいものですから次から次と一つづゝ目新しいものを與へて行く方がはるかに效果があります

頸の漂白パック
入浴の時が簡單に出來る

これから目立つ頸のお手入としては時々漂白パックをなさるとよいと思ひます、これは入浴時を利用するのが一番簡單で、無駄毛を豫め剃つておき、頸の汚れをよく石鹸で落した後、パックを致します

（材）料は簡單にするには片栗粉とオキシフル、それに化粧水を少々落してどろどろに練つたものをべたべたと頸に塗りつけ、十分間程そのまゝにしておきます、オキシフルの漂白作用が髮の毛に及ばないやうに髮は手拭等でしつかりしばつておき、後の生際やもみあげはポマードを塗つておくと水氣を彈きますからたとへパックの材料がついても害を受けないですみます

（あ）とをよくお湯で洗ひ落して化粧水をつけておいて下さい、年配の方で頸筋の皮膚の衰への見えるやうな方はコールドクリームをよくすり込んで輕く下から上へ撫で上るマッサージ、或は指先でたゝくことを續けると、次第に皮膚が緊張して皺が出來ません

清潔週間
廿日から國都で

解氷期を迎へていよいよ傳染病の流行季節が明けやうとしてゐるので國都市民の健康增進、市街美觀の維持、傳染病豫防、市街の完璧を期した首都警察廳衞生科では市公署防疫股と協力　來る廿日から「市街地淸掃週間」を實施することになつたが週間中は市街地の道路塵埃その他汚物の淸掃蒐集、塵埃箱の破損箇所修理ならびに設置、下水溝の浚渫をなし興行場、集會所各家庭の便所の戸の破損、衞生設備等につき調査を行ふほか道路や空地に放置されてある屋臺店、木材、煉瓦空箱その他の山積は發見次第撤去を命じ市民の衞生思想を喚起することになつた

"女は樂だ"などは飛んでもない
奥樣は一日に卅一町歩く　語る

一家の主婦は毎日どれ位歩くただらか、それを歩度計（歩くたびに針が動くやうになつてゐるもの）によつて、數名のサラリーマンの家庭の主婦によつて實驗したところによると、朝起きてから夜寢るまでに一日平均七千五百歩、これを距離に換算すると約卅一町を歩くことが判りました、卅一町といへば一里に近い距離で、家の中に居てこれだけ歩くのですから奥さん方の仕事の並大抵でないことがわかります

勿論この數字は平均數ですから、特に忙がしい主婦や外出を餘儀なくされてゐる奥さん方は少くも一日に一萬三千歩（一里十八町）以上歩くことになるでせう、また炊事のためにどの位臺所を歩くかといひますと、臺所の廣さを四疊程度のものとして、朝食のために平均四百歩（一町六間）晝食のために四百五十歩（一町卅間）夕食に二千歩（七町）合計二千八百五十歩（九町廿六間）歩くことになります、これを前に申上げた一日の歩數と比較して見ますと、一日の全歩數の三分の一以上は食べることのために費してゐることになるわけで、炊事勞働の繁忙さは男子の想像以上です

かうした一日平均卅町以上歩く奥さん達に比較して、外に出てゐるお主人の方は、デスクの仕事をしてゐる人で歩數一日平均六千歩、距離にして廿四町です、これは出勤から歸宅までの歩數を全部計算したものです、またデスクの仕事と同時に外出する仕事をもつ人は歩數九千歩で約一里、それから外出を主とする人で一日平均歩數一萬一千歩約一里十町で、外交員などは一日一萬四千歩位歩いてゐます

これを奥さんの一萬三千歩に比較すると、主婦の方が十町程少いに過ぎず奥さま商賣また辛い哉といはねばなりますまい

鏡臺の汚點
かうして除きませう

みなさんの鏡臺などの白い大理石の上に、油類がたれたのが、そのまゝ汚點になつて殘つてはゐませんか、これは早いうちに、左の方法で拔き取つて、常にきれいにしておきませう

先づ少量のアムモニヤ水と水と、水で溶かした比較的濃厚な石鹸液を硅藻土粉末（これがない時は糠を代用しても變りありません）を共にねり合したものを塗り、數時間放置しておき、更に熱い鐵ゴテをあて、乾燥した時更にとりかへて何日も反復します、又數日して油が浮いてきたなら、以上の方法をくり返しますとだんだん除去されます

身の上相談
解答　大川治

思ひがけぬ求婚
私はYよりHが好き

問　私は廿一歳の處女です、一月の末に東京を發つて只今では此方でショップガールを致してをります、來る早々賣場と私の賣り場に足を運んで來るYと言ふ男性があります、大變氣の良い方で一緒に散歩したり映畫を見たりお茶を戴いたり致してをります、その方から數日前私は求婚されました、私はYと言ふ方を好いてはをりますが結婚までしたいとは考へてをりませんでした

私はYさんと良く一緒にお見えになるHと云ふ方にひそかな愛情を感じてをります、Hさんも私を好いてゐて下さることは口に出したりはしませんが一寸した素ぶりで解ります、でもHさんはYさんにたいへんお世話になつた方だと聞いてをります、お二人は兄弟の樣に仲が良いのです、此の場合私はどうしたらよろしいでせうか、お二人の仲をこはしたりYさんの御心を傷つける樣な事を致したくないのです、と言つてYさんに自分の一生を、幸不幸をおまかせする程の熱情もありません

Hさんさへ私を抱きしめて吳れるならどんな事があつても私はすがりついて行きたいと思ふのですけれど、Hさんはまだそれ程の熱情を披瀝してくれません、Yさんの御心を傷つけない方法でHさんの意志を伺ふ方法はないものでせうか、何卒愚かな女とお笑ひにならずに良策を御敎へ下さいませ（廿一の乙女）

現在の輕率な感情に捉はれてはならぬ大事

答　結婚適齡期ともなれば色々異性が相互に目立つ事でせう、結婚希望の人々はお互に自分の幸しを選定する權利があるのですから、全く自由なわけでありますが、然し義理人情を缺いてまで自由ではないのです又合法的でもあらねばなりません、自分だけ滿足すれば宜しいと云ふ小乘的考へ方は精神的な修養よの事柄ならば力の有り餘らぬ人は許されて先づ個々の人々が自分自分で修養向上せんための目的として取るべき手段と思ひますが

相手方又は第三者にも因果關係を發生せしむる婚姻と云ふ事柄、家庭を持つて社會人として社會分業の一部を分擔する人としてはあまり勝手な自由行動は出來ぬ筈なのです貴方の場合は他の事を考へなければ貴方の好きな方向が取れ相ですけれども前述の樣に色々思ひ合せねばならぬことがあります

第一に贊成出來ぬ事は、相手方を貴方一人の觀察、或は感じだけで決定しようとされる貴方の態度です、結婚の相手と云ふものは既製品の洋服をさがす樣に探せるものではありません、貴方以外の人で社會の實情に明るい年長者なり、或は局外者なりが冷靜に觀察した上で決定さるべきものと思ひます然し兩者の婚姻成立には勿論兩者の合意が必要であることは每度乍ら本欄で說明してる通りです

輕率に蟲が好くとか何かの薄弱な理由で定められては男の方が迷惑でせう、尠くとも男の方は女の人より思慮深い場合が多いのですから、今の場合Y氏H氏二人との交渉を一時中斷されて現在の職業に沒頭される事を御勸め致します、現在に忠實な人は輝かしい未來を摑む權利があります、全く新しい氣持で男性の方から貴方の總てを觀察した上での申込みであつた場合其の方が貴方の全靈を打込んでも宜しい男性である場合結婚されたら宜しいでせう、貴方の現在の不用意な選擇に依つて男の友情を踏にじらぬ樣にして下さい、自分と結婚の實現を希望せぬ男性と平然と交際してるのは近代的かも知れませんがあまり感心出來ません

榮養素も澤山ある
卯の花料理を召せ

卯の花は豆腐のおからでこのお料理は日本人の間に古くから作られ一般家族から歡迎されてゐますが、その原料である大豆は五穀のうちで最も多くの蛋白質を含み重要な食糧品であり、醬油、味噌、豆腐、納豆、豆乳などの原料となるほか廣く使用されてゐますが、豆腐のおからも非常に澤山の榮養素をもつて居りますから最も經濟的なそして最も簡單な卯の花料理を召上がることをお奬め致します

・卯の花炒り・　おからにいろいろの野菜や肉の刻んだのを交ぜて油で炒つて味をつけたものです、肉は前日の殘り肉を利用してもよく、また肉でなしに鰯の酢にしたものを交ぜても大變さつぱりしてゐます、材料の安價な割に美味しく食べられる料理で臺所にいろいろな野菜が少しづゝ殘つた時など賢い利用料理です

・拵へ方・　材料は卯の花、豚肉、人參、椎茸、筍、干海老、葱のほか隱元、豌豆、蓮の實、麻の實などを入れると結構ですが、經濟と簡單といふ建前からすれば右のうちの二三種あれば宜しいでせう、野菜は何れも千切にし肉も細かに切つておき干海老も刻んでおく

鍋にラード大匙一杯ぐらゐを煮溶かして肉、野菜、海老を一緒によくいため醬油、砂糖、味淋、味の素を加へ暫く煮て材料に味がしみたとき湯を少しさして汁をうすめ、最後に卯の花をを入れて焦げつかぬ樣にかき廻しながら煮上げる、最初味をつける時調味料をたつぷりして餘程濃い加減に甘からくつけておかないと卯の花を入れてから味をつけたすのは困難です、また鰯を入れる場合は他の材料だけで卯の花炒りを拵へ鰯は別に酢にして五分位に切つておき、卯の花がすつかりさめてから全體に掻きまぜます

・卯の花汁・　卯の花と野菜の汁、材料は人參、こんにやく、牛蒡、油揚、干海老葱等を用意し、或は干海老の代りに豚の細切を使用してもよく極めて經濟的なお料理です

・拵へ方・　人參、こんにやくは短冊に切り、牛蒡はさゝがき、油揚は千に切つておき、鍋に胡麻油を煮立てゝ先づ油揚を除く野菜を入れていため、次によく摺つた卯の花を入れて尙いため煮出汁でどろどろにのばし、油揚を入れて暫く煮てから鹽醬油、味淋、味の素をつけ椀に盛つて晒葱を散して供します、晒葱はみぢんに刻み、布巾に包んで水の中でよく揉みヌルヌルを取り堅く絞つたものです

・卯の花鮨・　卯の花に味をつけて握鮨のやうに握り、上に酢にした魚を乘せたものです、見た目も綺麗で、併も美味しく子供のお客さん達に喜ばれます、魚は平目、鮎、こはだ、鰯等が宜しうございます

・平目の卯の花鮨・　平目を刺身よりも少し厚く大きめに切り鹽をパラパラとふり、十分間位たつたら味淋と酢を合せた甘酢につけて身が白くはぜたのを程度として取出しておく、卯の花はよく摺つて丁寧にすれば一度裏漉にかけると一層上等ですそれを鍋に入れて砂糖、味淋、醬油、味の素で稍甘く味をつけ絶えず掻き廻しながら焦げつかぬやうに煎り、全體に味がしみましたら器にとつてさまし、これを細長く鮨のやうに握りその上に平目ひと切を乘せ、微塵切の紅生姜を少し散して出します、普通のお鮨より少し小ぶりに拵へた方が上品でせう

鐵製鍋釜の金氣拔き

鐵製の鍋釜はアルミニューム製と違つて底が厚く、鍋全體に火力が廻るので煮物がムラなく煮えて味もよく又水分の蒸發が少いので醬油や味淋などの調味料が少くて濟むといふ長所がありますたゞ新しいうちは金氣があつて困りますが、簡單な金氣とりとしては、水一升に石灰一合の割合で石灰水を作り、これを晝夜新しい鍋釜に入れて煮立て次で普通の水で二晝夜も沸かし通しにするとどんな金氣でも完全にとれます、少し位の金氣でしたら薩摩芋を澤山煮るとすつかりとれます

家庭メモ
漆器類の扱ひ方

漆器類はお使ひになつた後はすぐきれいに拭いておくことです、漆器はすべて濕氣を嫌ふものですから洗ふときも湯又は水に長く浸けておくと品質を損じ狂ひが生ずることがあります

藏つておく時は布などに丁寧に包んで箱等に入れておくこと、但し濕氣のある場所や非常に乾燥する場所は大の禁物です、新しい漆器の漆くさいのを除くには米びつの米の中に五六日も入れておくときれいに臭味が拔けます

三月興行合戰の跡 何んと云つても長春座が一位、

先 月の揚げ高調が愈よ出來上つた、此の結果から綜合して見ると國都人は映畫がお好きと言ふ事實を明かに數字が物語つてゐる樣だ、さて虚々實々の先月の興行合戰は如何、首位及びその順位は？それからまたどんな映畫が國都のファンには受けたであらうか？ファンにとつて中々興味深いものがあらう

三月に於ける國都日系映畫常設館總入場人員は何んと二十七萬一千名、此れが總收入は十九萬九千圓の巨額に上つてゐる、之を各館別に細別すると

長春座……四萬七千六百圓で再び此の月の王座を占めた、特にヒットしたものもなく再映ものばかりの番組でアトラクションもお粗末なものばかりであつたが中々良く入つた、受けた映畫の順位は(一)妻には夫がある、與三郎吹雪(二)涙の責任、めをと御殿(三)素裸の家、青春の海、他は何れも再映もの、相變らず大船ものが呼物となつてゐる

帝キネ……四萬五百六十圓で第二位、當つた順位(一)大辻司郎の漫談、朝やけ、お轉婆社長(二)花井蘭子の實演、彥六なぐらる、雲月の鈴蘭の妻(三)「化粧雪」「仇討ごよみ」の順、封切陣は此の他「遙かなる弟」「春よいづこ」と惠まれてゐ乍ら此の月は興行的には長春座の下位に甘んじてゐる

豐劇……三萬三千圓で第三位、南風と共に益す好調である(一)愛染かつら、續並完結篇、ディクミネの實演(二)金語樓の親爺三重奏、エノケンの彌次喜多(三)愛染かつら前後篇の順で受けた愛染ものの魅力たるやいつかな衰を見せてゐない怖るべし

新キネ……三萬二千四百圓で第四位(一)杉狂のアトラクション、暢氣眼鏡、元祿武士道(二)突擊は之からだ、涙の捕繩(三)あわてたぼおいず忠僕直助、新妻よお靜かに(四)大崎史郎、衣笠淳子の實演、街の魂、連獅子供養の順、以上が此の小屋の封切物の全部

銀キネ……三萬六百圓で第五位とは言へ、實際には豐劇新キネと大した遜色はない、當つた順位は(一)井口靜波の實演、女百萬石、母戀千鳥(二)天保江戸櫻、若妻の夢(三)リズム・ボーイズ、若い力、忍術息子で就中井口靜波の浪曲學校は國都ファンの人氣をさらつた

朝日座……一萬五千四百圓で野球の帝大みたいにいつもどん尻に甘えてゐる此處は「牢獄の花嫁」が大當りで儲け頭(二)は有明無明大會(三)が土と兵隊と言つた順序、アトラクションは何もからず、ざつと以上の樣な景況であつた

製作良心を疑ひ 東寶に不滿の聲 監督、俳優らも憂慮

最近の一般興行界の好成績につれて各映畫會社も黑字續きの好況で新興キネマも五分の配當をなすといふ情勢にあり「どんな映畫でもお客が來る」といふやうな觀念を製作當事者に抱かしめる觀さへあるが最近東寶映畫は興行價値のみを狙つて力を注ぎ、その製作企畫等も先づ算盤に左右される傾向があり俳優陣の充實と共に

東寶 映畫創設の當初から重要視されてゐた前進座一黨の如きも、その映畫があまりにも高級で一般からは頗る不評の赤字映畫なので最近では邪魔物扱ひにされ、一方今春の大作である衣笠貞之助作品「蛇姬樣」の如きもフイルムの不足を理由にその撮影も極度に緊縮されるといふ不自由さであり、又島津保次郎監督の如きもさうした不自由さと、豫想以上の俳優の不訓練等にすつかり氣持を腐らせてゐるが、これに反して柳家金語樓、ロツパ、エノケン、エンタツ、アチヤコ、天中軒雲月等の出演映畫は製作費も低廉であるのみならずその

内容 の如何によらず好成績であるため力を注ぐといふ方針で徒らに營利的にのみ流れて大衆に媚る映畫の製作傾向は東寶映畫の權威を失墜せしめるものであると撮影所内部でも不滿を抱くもの多く、かゝる狀態の續くことは東寶映畫の前途を危くするものであり監督、俳優間でも憂慮するものが多い【寫眞は「蛇姬樣」の山田五十鈴】

流石撮影所育ち 給仕君の名演技

大船野村浩將監督の新作田中絹代主演「絹代の初戀」に煎餅屋の小僧に扮して出演してゐる沖田儀一は城戸所長附の給仕で十四歳の少年ながら嘗て「花ある雜草」や「素晴しき哉彼女」にも出演したことがあり映畫俳優としての登錄も申請してゐるので各監督に可愛がられてゐるが素晴しい演技をみせ第二の突貫小僧になるだらうとの評判が高い

滿洲樂海外へ 京樂▶◀中旬の放送プロ決る

新京音樂院四月中旬放送曲目左の通り

▼一一日後五、三〇 新京吹奏樂團(指揮)坂西輝信 (吹奏樂)一、行進曲「分列式」(アンドレー作)二、序曲「剛毅の伯爵」(キング作)三、圓舞曲「ジプシー・ライフ」(レイモンド作)四、幻想曲「花に寄り添ふ女王」(アルノー作)五、行進曲「空の勇士」(小貫與四郎作)

▼一二日後三、三五 新京音樂院滿洲樂部 (滿洲樂)(一)雲慶(二)八譜(三)貴妃醉酒(四)春來(五)落江怨(六)茉莉花

▼一六日後六、〇〇 樂聖物語「ヨハン・セバスチアン・バッハ」小貫與四郎作

▼一九日後七、四〇 新京音樂院滿洲樂部(滿洲樂)一、桃花序 二、雲慶 三、太湖船 四、平湖秋引 五、一枝花 六、茉莉花

▼二〇日後〇、〇五 新京交響樂團(指揮)大塚淳 (管絃樂)一、組曲第一「カルメン」よりプレリユード(アンダンテ・モデラート)トレアドール(アレグロ・ヂオコーソ)ビゼー作曲 二、組曲第一「アルルの女」よりアダヂエット(ビゼー作曲)三、圓舞曲「碧きドナウ」シュトラウス作曲

ボールルーム

▼コ・マ・ガ・ス・タ・ン・キ・ン・グ・バンド 先づ三月から新編成のバンド紹介一ヶ月たつて今が丁度油の乘つた所、扇芳會館のジャズは名付けて曰くコマガスキングバンド顔觸れは左の如くである(括弧内は舊所屬)ピアノ駒形政次(大連ハピノス)トロムボン刈谷文一(大連ロケ)トロムペット清水秀夫(大連ハピノス)ドラム服部一郎(神戸ソシヤル)アルトサックス清水正夫(奉天スター)テナーサックス向井陽一同兒島義高(高島屋樂園)バス小松昌雄(尼ケ崎)大連、關西からピックアップした御自慢のバンドだけに今の所一番聞き榮えがする、本格的スキングにマニアを滿足させてゐる、タンゴはお馴染みイシガキイスオルケスタ、李香蘭が帝都キネマへ出た時に伴奏したバンド、以前からのヴアイオリン石垣用昌ピアノ藤田四郎、バンドネオン竹田修に新しく京都桂からアコーデイオン山田進、哈爾濱アトランチックから金子弘が加はつた、落着きのある遊い演奏であるが、時には馴れきつてしまつた感じで熟の足らない樣な場合もあるのが惜しい

前線で握合ふ固き手と手 上原謙と佐野周二

西住戰車長傳 餘話

松竹大船の藝能祭コンクール映畫「西住戰車長傳」の現地ロケで、吉村公三郎監督、主演の西住中尉に扮する上原謙の一行は目下南京から漢口に赴き戰車の猛烈な戰鬪場面を撮影中であるが

この一行は途中偶然にも〇〇で活躍中の佐野周二こと關口軍曹にめぐりあつた滿二ケ年前佐野周二應召して勇躍壯途につくに當つて驛頭に見送つた上原謙が「君の留守中は必ず自分が引受けて二人分の活躍をするから心おきなく戰つてくれ」と誓ひ合つた仲であるが、今また前線で再び固い握手を交す二人の眼は感激にうるんでゐた

高麗藏丈襲名 海老藏

歌舞伎俳優松本幸四郎の長男市川高麗藏が市川宗家堀越福三郎こと市川三升夫妻の養子となつて梨園の名家を嗣ぐ事になつたため去る二月廿四日松本幸四郎こと大藤間流舞踊家元藤間勘右衛門氏から長男高麗藏こと藤間治雄君を對手取つて法定推定家督相續人廢除の訴訟を東京民事地方裁判所へ提起した

その後鈴木裁判長係りで審理中のところ、一日朝申請通り相續人廢除の判決が云ひ渡された、これによつて高麗藏は近く市川家に移り五月海老藏を襲名することになつた

岸井明が結婚

クククククク 身長五尺九寸、體重四十二貫、正に映畫界隨一の巨漢と定評のある東寶映畫の三枚目スター岸井明(三一)が、近く吉日を選んで華燭の典を擧げる

花嫁は寶塚少女歌劇月組の初霜菊子＝本名勝間田綾子＝(二二)さんだと云へば、チヨイと驚くファンもあるが、このため彼女は二月の東寶劇場公演を最後に寶塚を退き、專ら結婚を待機して家事修業に餘念がないと云ふ【寫眞は岸井明】

▲賞金一萬三千圓 日活では、一日森田社長、岡副社長、大藏常務、多摩川撮影所長らが初の文部大臣賞を獲得せる「土と兵隊」「土」の賞狀授與式を擧行した、尙、賞金合計一萬三千圓は有意義な使途を協議中である

▲結婚ばやり この春は映畫人の結婚が相次ぐが目下「銀翼の乙女」製作中の東寶映畫藤田潤一監督も同社の新進スター宮野照子と近く華燭の典を擧げる

▲小崎政房の祖國 大都の小崎政房監督は、大都南旺兩社諒解の下に一年に二ケ月南旺映畫に出張して演出を擔當することとなり「祖國」完成後南旺で第一作を撮るが、この脚本は第一協團の高木孝一監督が執筆する事となつた

實話小說 順子(じゅんこ)の娘(むすめ)【3】

小杉好夫作　堂門重生畫

街の灯

順子はたつた一人で思ふ存分考へたかつた

樂屋では淑子がさぞ自分の迎へを樂しんでゐるであらう、今日は樂の日なので淑子に御飯を御馳走する筈だつたのだ

けれど今の男との氣まづさやバーの不振に苦しんでゐた順子には、此んなしみじみとした晩は滅多に求められないことだつた、淑子に悪いけれど默つて此の儘歸らう

港を眺めては涙ぐんだ多感な娘時代の様に感傷に身をまかして見やう

外へ出た順子の頰を初秋の冷え冷えとした夜氣が快よく撫でて行つた

街の灯は懐かしい秋田の港の灯の様に順子の眸にうるんだ

湧いてくる涙さへ今は妙に懐かしい氣持であつた、此の世の中のからくりと言ふものは何んと奇妙なものであらう、現在の人間社會と言ふものは女からその自由を奪ふ事によつて多くの道德律を形成してゐるのではあるまいか、女をその道德の掟に縛りつけなければこの人間の世界の秩序が保たれないなんて何んと情けない事であらう

女の貞操は强要されながら男の貞操は顧みられない道德なんて、なんてチャチなものだらう

女が男の様な自由さを許されたら忽ち此の世の中の規律が紊亂してしまふ、ああつまらない、順子はそんな女の開放や性の開放を叫んだ「新しい女」見たいな女ではない、だが而し自分の様な眞實一路を追求して來た女まで「淫奔女」の烙印を捺されてしまふなんて

あゝ之が日本の女の宿命であらうか

此の世の中の掟は女性に取つて重く同じ人間ながら男と女とに不幸な區分を與へなければならぬのか、而し之が永劫變らざる女の宿命であらうか

世間の人達ならまだ我慢も出來る、而し自分の實家の父や母、親戚の者まで、自分を冷たい鞭で打つてゐるのだ、愛する男の懐以外自分の安住する所がどこにあらう

石もて追はれる如く生きてゐる順子よ、順子よお前は一體どこへ行くのだ……

順子は自分がしみじみ可哀想なものに思へた、いつの間にか思ひたゝずんでゐた三原橋の上の順子に、秋風が冷たく吹いた

水は暗く闇の中に澱んでゐた、秋の夜であつた

誰かに思ひ切つて身を投げ出して泣いて見たい、人戀しい氣持、やる瀨ない氣持ち、あゝこの感傷を嗤つてやれ

順子は急に大聲で自分を嘲笑してやりたい氣持で立上つた

煙草が順子の手を離れてポトンと水面へ落ちて消えた、左に折れて「はせがわ」の前を通ると、醉つて出て來たのが横光利一であつた

あゝ、此處にも知つた人がゐる……少し行くとバー・ドートンヌがあつた

此處は順子の前夫の美術家のＹ氏や、有名な畫家や文藝春秋の連中や、新聞記者のたまり場であつた

ぐでんぐでんになるまで昔馴染の連中と醉つぱらつて見ようか、だが流石に順子にはドアーを押し開ける勇氣がなかつた

順子は再び歩き出した、さうだ、此の儘何處か靜かな所で二、三日遊んで來よう、何もかも忘れて……

事によつたら東京からこの儘姿を消してしまはうか、何も未練を感じてゐない順子であつた

そして旅へ出ると言ふ喜びに順子の心は少女の様に躍つた、新橋驛で順子は湯河原行の切符を買つた

階段を上る時順子は一人の女に會つた、淋しさうな微笑みを交はして女は通り過ぎた、此處にも自分と同じ道を辿る運命の女がある

順子はぐつと目をつぶつた、行き違つた女は岡田嘉子であつた

ラヂオ RADIO けふの番組

十一日【木曜日】【M・T・O・Y 新京放送局】

朝

七、〇〇(新京)建國體操
七、一八(大連)入港船のお知らせ
七、二〇(新京)ニュース
七、三〇(新京)朝の修養「聖德太子を讃仰し奉りて」姬宮チギヤタ
七、五〇(大連)中等滿洲語講座 秩父固太郎
八、二〇(新京)氣象通報
八、二五(新京)ピアノ獨奏(レコード)ケンプ 一、「奏鳴曲變イ長調」(ベートーヴエン作曲)第一樂章(モデラートカンタビーレ モルト)第二樂章(アレグロ・モルト)第三樂章(アダヂオ・マ・ノン・トロツポ)二、コラール・プレリユード(バッハ作曲)
八、四五(新京)建國體操
九、〇五(東京)經濟市況
九、三〇(東・奉)經濟市況
九、五〇(奉天)幼兒の時間 童話劇「コドモ部隊」(小見山美夫・作)砂山コドモ會
一〇、〇五(大連)家庭メモ
一〇、一〇(大連)料理獻立
一〇、二〇(大連)家庭の時間「經濟統制と家庭生活」平井齋三
一〇、四〇(新京)食料品値段
一一、三五(奉天)經濟市況
一一、四〇(東京)經濟市況
一一、五九(東京)時報

晝

〇、〇一(奉天)經濟市況
〇、〇五(大阪)吹奏樂(大阪吹奏樂團、指揮 林亘)(一)奉祝國民歌紀元二千六百年(二)イタリア綺想曲(チャイコフスキー作曲)三、歌劇「サムソンとデリラ」より、酒神祭の舞曲 サンサーンス作曲
〇、三〇(東・新)ニュース
一、〇五(東京)經濟市況
一、五〇(奉天)經濟市況
二、五五(新京)氣象通報
三、〇〇(東京)婦人の時間「櫻の歌」若山喜志子
三、二〇(東京)經濟市況
三、三〇(東新)ニュース
四、三〇(奉天)經濟市況
五、三〇(新京)吹奏樂(新京吹奏樂團、指揮 坂西輝信)(一)行進曲「分列式」アンドレー作曲(二)剛毅の伯爵(キング作曲)(三)圓舞曲「ヂプシーライフ」レイモンド作曲(四)幻想曲「花に寄り添ふ女王」アルノー作曲(五)「空の勇士」小貫與四郎・作曲

夜

六、〇〇(東京)子供の時間 國史劇「大化の新政」(中村孝也案、福田淸人作)吉原鐵夫・他
六、二〇(東京)コドモの新聞
六、二五(哈爾濱)初等ロシア語講座 櫻木新吾
六、五〇(新京)國民メモ
六、五五(新京)カレントトピックス
七、〇〇(東・新)ニュース(新京)告知事項、今晚の番組
七、三〇(新京)國民の時間
七、四〇(大阪)音樂劇「夢殿の觀音」木村武・案 JOBK文藝課脚色、高木東六作曲
八、三〇(新京)談話の時間 甘粕正彦
九、〇〇(哈爾濱)合唱
九、一〇(東京)時吟物語「梁川星巖」(伊藤松雄作)物語 澤村田之助、詩吟 山田積善
九、三九(東京)時報、ニュース、ニュース解說(新京)ニュース、氣象通報、告知事項、明日の番組
一〇、三〇(新京)今日のニュース
一〇、四〇(哈爾濱)北滿の時間(露語)

婦人の時間 櫻の歌 後三時

若山喜志子

櫻は日本の國花でありまして日本人として櫻について充分知つてゐなければはづかしい事と思はれます、櫻は相當種類が豐富で一重のものと八重のものとの區別もあり色もそれぞれ濃淡が違ひ咲く時期も違つてゐます、一般に香氣はありませんが中には香氣のあるものもありますが、一般にほひ櫻と言ひます、開花期は臺灣は二月、三月中旬は九州、四月中旬は東京、五月中旬東北、六月上旬宗谷、七月千島樺太と言ふ順序で全國到る所に咲きその土地々々でそれぞれの情緒をいかしそこから生れる歌もまた色々と種類が多く異國趣味に溢れるものもあります

古書にも櫻に關する記事は豐富で名前等も大手鞠、小手鞠、志だれ、右衛門櫻、金王櫻他無數にありそれぞれ歌にもいかされてゐます櫻の名が最初に記錄に見えたのは日本書紀で允恭天皇の條に花ぐはし櫻のめで云々の和歌が見え萬葉集には若宮年魚(アリ)麻呂の誦へたといはれる「處女らがかざしのために遊士が鬘のためとしきませる國のはたてに咲きにける櫻の花の匂ひはもあなに」「去年の春逢へりし君にこひにてし櫻の花は迎へこらしも」の古歌が見えて居りいかに古く我等の祖先が櫻の花を愛したかを證して居ります、奈良朝に入りますと支那心醉の時代だけに都では櫻よりも寧ろ梅に重きをおいて「百敷の大宮人はいとまあれや梅をかざしてこゝに集へる」萬葉集など歌はれてゐましたが平安朝になると民間の櫻を愛賞する一般の好尙は遂に貴族をも本來の好尙にかへらして「百敷の大宮人はいとまあれや櫻かざして今日もくらしつ」新古今集と改めてゐます

これは全く日本國民の本來の趣味をあらはしたものであります、以後櫻は日本國民と離れず在原業平は「世の中に絶えて櫻のなかりせば春の心はのどけからまし」と詠じてこの花を愛する國民の心を言ひつくしました

学芸

勝負（三）

短篇　櫻井辰雄

「とれ、何匹になつた」

利助は健太郎が幼い筆で蠅捕り袋の上へ捕つた蠅の數を書きこんでゐるのを覗きこみながら、もどかしさうに言つた。

「千二百四」健太郎は書き終ると得意さうにさう言つて蠅捕り袋を父の眼の前へ突きつけた。

「隨分捕りやがつたな」

利助は嬉しさうに言つて千二百匹と口の中で呟いた

「これだけ捕るにや、隨分苦心したんだろ」

「うん。大根河岸の砂糖屋の前まで捕りに行つたんだよ」

「砂糖屋？ふむ。手めえ中中智慧があるぢやねえか。成程なあ、蠅は甘めえもんが好きだから砂糖屋の前に集まるつて譯か。ふむ。ーーだがなあ健坊、お父ッあんだつて店の前へ捕りにくるやつ等に、こゝに居る蠅は俺んとこの蠅だから捕つちや不可ねえつて、他のやつ等に捕らせなかつたんだぞ」

「馬鹿だなあ、お父ッあんは。蠅は飛んで歩くんだからそんなこと言つたたつて仕樣がないぢやないか」

「なにが馬鹿だい。親に向つて馬鹿だつて言ふやつがあるか。店の魚にたかる蠅は俺んとこのものに定まつてゐるぢやねえか。蠅は魚があるから飛んで來るんだろ。もしそれを魚がなかつたらと考へてみろ。飛んで來る譯がねえぢやねえか。早い話が蠅を飼つてゐるやうなもんぢやねえか。この理窟がわかんねやようぢや手めえの方がよつぽど馬鹿ぢやねえか」

「さうかなあ」

「さうだとも、誰れにだつて聞いてみろい。お釋迦樣だつてーー御存知あらあな」

「お父ッあん、お釋迦樣つて知つてんの？」

「あたりきよ。お釋迦樣は印度の大將ぢやねえか。日本の日蓮樣と同じだあな。それぐらゐのこと知らなきや江戸ッ子の恥曝しよ。そりやさうと早く町會へ持つて行けよ」

「うん。二百匹で籤が一本引けるんだから六本引けるな一等が當るといゝなあ」

「一等はなんでえ」

「浴衣だよ」

「浴衣、悪かあねえな。俺ら昔から浴衣が大好きなんだ。一等を當てゝこいよ」

「そんなこと言つたたつて籤引だからわかんないよ」

「そいぢや當らなかつたらなんでえ」

「キヤラメルだよ」

「なんだキヤラメルか。がつかりさせやがら。まあいゝや、早く持つて行つてこい」

健太郎は蠅捕り袋を大事さうに下げると、前の町會の事務所へ驅けこんで行つた。多勢の子供達が後から後からと列を作つて行く。

利助は爼の上で鰆の腹を割りながら、巧く健太郎が浴衣を當てゝくればいゝがなあと考へてゐた。仕事が終つてからサラッとした浴衣を着るのも良いもんだ。健太郎が浴衣を當てゝ來たら、なんと言つて褒めてやらうか。今度の公休日に海水浴へでも連れて行つてやらうか。さうだ、それが良い。あいつは海が好きだから。浴衣を當てゝ來たら早速お松に縫つてもらふかな

利助がそんなことを考へながら仕事をしてゐると

「お父ッあん」

と、健太郎が歸つて來た。

「どうした？」

「……」

「浴衣はどうしたんだよ」

「はづれちやつたんだよ。みんな」

「六本とも全部か」

吐き出すやうに利助はさう言つたが、健太郎の沈んだやうな顔色を見ると

「さうか、仕方がねえ。籤が弱えんだ。俺も生れつき籤つてやつにや弱いんだ」

諦めるやうに言つた。こんなことで、こんなことでと自分の心を叱つてみたがなにかしら忌々しさと悲しさと憤怒とが湧き上つくるのを、利助はどうすることもできなかつた。その時、お松が

「お前さん、店のリボンにも隨分くつ付いてゐるぢやないか」

と、店の奥から聲をかけた

「あッ不可ねえ。さうさう　すつかり忘れてゐた」

利助はその聲に俄に有頂天になつて、天井から蠅捕リボンをはづした。

「これを持つてけ。二百匹ぐらゐ付いてゐるかな。いや四百匹はどんなことしたつて付いてゐらあな」

健太郎は父の劍幕に唖然とした顔だつたが肩を小突かれて慌てゝ町會の事務所へ飛んで行つた。

今度はどんなことがあつてもきつと當るぞ。いくらなんだつてさうはづれるつてこたあねえや。利助はお松がリボンのことを思ひついてくれたのをこの上もなく感謝しながら、わくわくした氣持で健太郎が浴衣を下げて歸つてくるのを待つてゐた。

「お父ッあん、またキヤラメルだ」

健太郎が泣きベソを掻いたやうな顔で戻つてきた。

「えッーー」

利助はなにもそれ以上言ふことができなかつた。

「一等は慶吾のやつが當つたんだよ。あいつ籤を三本しか引かない癖に」

「さうか」

利助はボッツリと肯いた

「お父ッあん御免ね」

「ーーいゝんだ。いゝんだよ。お前が籤が弱えんぢやねえ。籤が弱えんぢやねえ運が悪いんだ。俺達あ運が悪いんだよ。健坊、お父ッあんにもキヤラメルを一つおくれ。うふッ、キヤラメルも巧めえもんだなあ」

利助は健太郎の肩を抱き寄せて、しゆくんと鼻を啜り上げた。　三・一〇（完）

スケッチ風の掌篇

久保田万太郎「カアル・ブッセ」（「改造」四月號）

例の久保田氏の戲曲である。文學好きな床屋の主人、彼の家に以前に居候してゐた同じく文學好きな佐野といふ男の書いた戲曲が認められ、上演されることになつたと思つて大喜び、ところが、それは同姓の別人だつた。本物と佐野の方とがそれぞれに床屋にやつて來て、いざこざがある。結局、昔居候してゐた男は大陸へ渡る決心をしたといひ、二人でヘッセの「山のあなたに空遠く」を唱へて幕。

趣向は一寸面白いのだが、いかにも短篇過ぎて、極めて輕いスケッチといふ域を出てゐない。（御垣衛士）

京劇（支那舊劇）の沿革（二）

樊植　大内隆雄譯

二、上古の演劇の起源及び歴代の變遷

京劇は支那演劇の一種である。古代の演劇は三千餘年の變遷を經て來て、遂に今日の京劇となつたのである。吾人は京劇の沿革について研究する前に、上古の支那演劇の起源と歴代の變遷を檢討する必要があると思ふ。

支那では演劇が出來て以來、三千餘年の歴史を經てゐる。だがこれまでそれについての系統立つた正しい記錄はなかつた、これは演劇の精神と文化の普遍化のためには障碍たらざるを得なかつた、その原因は封建證上この上ない遺憾事であつた。

支那演劇は一體いつ始まつたものか、一般の演劇研究家間には議論が甚だ多い。史籍を考ふるにそれは遠く少　以前（今を距る四千年）に既に演劇の雛型があつた。古代の楚語や商書等には巫覡が盛んであつたことが詳しく記してある、凡そ一切の祭祀は必ず巫覡をして絃良を着歌舞せしめ以て神靈を樂ませた、一時競尚の風あり、極點に達した。周秦時代に至つて畜優といふことが盛んになつた、史書に稍詳しく記されたものに優施、優孟、優旃等がある、歌舞を職とした外に、又諷刺戲謔を兼ねてゐた、このため巫優の間にそれぞれ違ひがあつた、巫は神を樂しませ、優は人を樂しませた、巫は歌舞を主とし、優は戲謔を主とした、巫は女を主とし、優は男を主とした、二者ともにほゞ演劇の雛型を備へてゐて、演劇の萌芽時代を成した、それ故後世の演劇は上古の時代に始まり、それは巫優に始まつたのである。

周秦以降漢魏までは、一切の音樂は皆周秦の古いものを用ひてゐた、ただ漢の初めには優といふのはゐず所謂倡人がゐて歌舞戲謔を事とした、だが歌舞戲謔の外に、表演競技も兼ねた、それ故優人とは異つてゐた漢の高祖の世、傀儡戲が興り甚だ盛んになつた（傀儡とは人形である、仕掛をし嬉戲歌舞さす、はじめは喪家の樂であつたが、漢末に至つてこれをめでたい集りに使ふやうになり、今なほ支那の西南各省に存してゐる）

漢の武帝の元封三年、角觝戲が又起つた、角觝戲といふのは、後世の白戲で、その包含するもの甚だ廣く唱あり作あり、物語を演じ角力角技を兼ね、歌舞、演藝、魔術等もあつた、張衡が書いた西京賦に詳しい記述がある、後世頗る稱道された。以上を綜合すると、漢時代（魏代の演劇で考ふべきものは甚だ少い、殆どみな漢の古いものを踏襲してゐる、故にこれは省略する）の演劇は周秦よりは進歩してゐたのである。

六朝の演劇は甚だ創造を缺いた、蓋し立國日淺く東南に二度も遷り加ふるに戰禍があつたので、さうした餘裕がなく演劇はなほ古いのをやつてゐたのである、惟ふに當時一般の風雅な人人は、多く音律を解し、作曲及び管絃と竹の調節に對しては大いに貢獻した。

南朝宋頃は四史に據ればなほ角觝の戲の流れをひいてゐるやうで、古きを推し新を立てゝも少し變化があるだけで、あまり創造的なものはなかつた、脚本は多く物語の演出に弄り、時には背景や砌末を用ひた（砌末とは劇中に實物の代りに用ふる模型や品物で、鞭で馬を、奬で船を、椅子や卓で山嶺を現はす類ひである支那演劇では抽象に重きを置いてゐる、眞實に迫るのを排する、殊に本物を舞臺に出すのを排する、偶々あつても道化役が妙なズボンを穿くやうなものでこの點では西洋のリアリズムの演劇とは全く違つてゐる、これ蓋し支那演劇の特徴である）これは後世の演劇に少からず生色あらしめた。

新京の印象

常岡卯三郎

筆者紹介、本稿筆者常岡卯三郎氏は春台美術會委員、一水會會員で南國生れの熱、粘りを持つた畫風で知られてゐる、近く三中井で個展を開くべく準備中である【寫眞は常岡畫伯】

新京は寒い、もう雪は見ないと思てゐたが。お蔭で多着のぼろ服でオーバを着て一寸ごまかしをきかしてゐる。内地はとつくに彼岸は通過して梅も桃も終つてもう花の滿開は間はないのだが。私は春の展覽會が濟んだので二度目の滿洲の旅にやつて來た。四五年前に新京に一週間ばかり宿つた事がある。こんど來てみると、當時の印象よりはやゝ一段とはりきつた氣持がする。

着京早々三中井で油畫の個人展を見た、多分滿洲にをられる方と思つた。滿洲は内地と違つて色彩等は内地の畫家の想像もつかないものがあるやうである。康德會館、海上ビル、東拓ビル、滿炭等へ私用で行つて大小色々な油畫がかゝつてゐるのを見た。畫の行き方も種々であるが獨立系の畫家が多數にこられてゐる事を直感した。がつちりした力と粘りの畫、寫生を離れた氣持の畫、どちらが新興滿洲にがつちりするか、それは皆さんにおまかせする事にしよう。併しフレシュの傾向のものが歡迎せられるには間違ひないとしてもそれはやはり寫實から來たものでなければならい。色色な意味からフレシュのものが歡迎せられるのは誠に結構と思ふが、どのやうな新しい傾向のものが好いのか本當にわかつて批評されてゐるか私には一寸疑問である。東京では何と云つても梅原、安井兩氏の上に出る畫家は見當らない。通り一ぺんの畫を描いておいて行れる方と、まづくても力一ぱいの仕事をしてある人と一所にしてはなるまい。今度は二度目の滿洲旅行で少しは勝手もわかつてゐるので落ちついて滿洲をしつかり見て何か描く考へでゐる。

紀元今や二千六百年を數へ興亞の大業に國を擧げて戰ふの時榮えある日本帝國並に滿洲帝國の前途を祝福したいと思ふ。經費とタイムの都合では私は南支方面迄足をのばして近作發表を新京でやりたいと思つてゐる。

書架

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し（係）

△創造（四月號）坂西利八郎「事變解決への途」「日本經濟の革新」大西齋「新中央政府の生誕」白鳥敏夫「日ソ提携論」遊佐慶夫「日滿支法律ブロック論」水野梅曉「支那民族と革命」その他大陸關係の記事多數（東京市神田區淡路町二ノ七、創造社、四十五錢）

△國立中央博物館時報（四號）藤山一雄「民俗博物館について」遠藤隆次「滿洲地質調査懷古錄」三井内勝治「電球の話」その他を收錄（新京、國立中央博物館）

△昭和十三年關東局人口動態（關東局）

△東亞商工經濟（四月號）日滿貿易について豐富な資料を特輯す（大連商工會議所、四十錢）

△經濟統計月報（四月）（大連商工會議所）

△鳴鏑（四月號）（東京淀橋百人町、反響社、十錢）

△健康滿洲（日文版・三月號）田中武一「採煖停止後の保健上の注意」伏木卓也「春先に多い子供の病氣」その他（滿洲結核豫防協會、二十五錢）

△健康滿洲（滿文版・三月號）辛鈞「天花與種痘」その地各種衛生關係の記事（滿洲結核豫防協會、二角）

△業經（四號）文人寄稿を茶菓子とすべきであらう（廣島市宇品町七三四、百姓社、三十五錢）

△月刊滿洲（四月號）田村敏雄「三つの夢想」北條秀一「平均を失つてゐる滿洲」田中鐵三郎「海量」出原伷「石夏日先生と私」白銘賓「元曲と錦冶」稻葉君山「君山の辯」石原巖徹「快人筆供養」薄天鬼「學事笙蹄」「大陸春模樣」「大陸千夜一夜座談會」石敢當「一味樓雜記」大内隆雄「文藝時評」「陽春特輯讀物」等を盛つてゐる（新京崇智胡同六〇一、月刊滿洲社、五十錢）

△法律時報（四月一日號）（大連、法律時報社、二十錢）

△二〇三高地（七號）島崎曙海その他の作品を收錄（大連市近江町一五三ノ二ノ一、二〇三高地發行所、三十錢）

△滿業（十九號）（滿洲重工業開發株式會社内、滿業懇話會）

△滿洲婦人新聞（四月一日號）（大連、滿洲婦人新聞社）

△滿洲鑛業協會誌（二月號）白石猛夫「北米の砂金採掘」佐藤健三「世界に於ける石油の需給狀況と人造石油の將來」近村吉利「滿洲に於ける燃料資源と其工業」小島忠三「シベリアに於ける永久凍結層」小笠原鍵「再び滿洲の天然榮用粘土に付て」柴田武人「復州粘土に付て」等（新京羽衣町、滿洲鑛業協會、六角）

△仁愛（二月號）小泉菊枝「信念に生くる」正田淑子「弱者の強味」その他赤十字事業についての諸記事を盛つてゐる（新京北安路五〇一、滿洲國赤十字社、三十錢）

△業務資料（三月號）（滿洲電信電話株式會社）

△資料彙報（二月號）（滿洲重工業開發株式會社）

△發明の滿洲（三月號）佐々木敏郎「電氣通信と發明」その他發明についての記事（滿洲發明協會、四十錢）

△國民法律顧問（三月號）（東京荒川區尾久町、國民法律顧問會、二十錢）

△和風（三月三十一日號）（奉天稻葉町二九、和風會）

△大陸研究（三月號）（東京葛飾本田立石町、大陸研究社、四十錢）

△論叢（第二輯）田崎仁義「皇道日本國と王道滿洲國」平泉澄「興亞の原動力」白柳秀湖「アジア諸民族解放戰の三段展開」山崎靖純「東亞協同體の史觀と本質の檢討」菅原達郎「滿洲國に於ける土地制度の調査と土地法規の制定に付いて」藤山一雄「移民の要素に關する諸考察」中田武一「滿洲農村の建築」赤瀬川安彦「滿洲鑛產資源の國防的意義」等の示唆と興趣に富む論稿を大同學院で編纂したもの、菊判二七三頁（新京興安大路滿洲行政學會、二圓）

戰歿者の慰靈に五輪大會開催

芬蘭、熱烈な要望

【東京國通】一九四〇年度オリンピック大會開催豫定地とされてゐたフィンランド首都ヘルシンキは遂にヨーロッパ戰爭に捲き込まれ同大會も戰局の進展に伴ひ遂に開催不可能の狀態になつたがさすがにスポーツの國フィンランドは斷然寡勢よくソ聯の大軍と戰ひ善戰敵を惱ましたものの衆寡敵せず遂に屈辱的媾和を結びどうにか北歐の天地も平和を取戻したので同地のスポーツ界では戰死靑年の慰靈のためにも是非オリンピック大會を開催したいと熱烈な希望に燃えてゐる旨八日同地駐在杉下公使から外務省に報告があつた

この報告によると同國敎育大臣は去る三日内外記者團に對して今夏同大會を開催することはなほ不可能であるが次回は是非ヘルシンキで開催したい希望を述べて居り、また組織委員會でもフィンランドがソ聯に對して善戰奮鬪した事實とスポーツで鍛へたフィンランド國民性を世界に宣言するにも同大會の開催を中止すべきでないとし燃え立つ更生の意氣を示してゐるとのことである

六大學野球リーグ

慶應先勝

4A―3對東大戰

【東京國通】六大學リーグ第一戰を承ける慶應對東大一回戰は午後零時二十三分から藤田(球)西村、長澤山崎(壘)四氏審判、東大先攻に開始、試合經過左の通り

(大東) 田本藤武倉多野端中 飛山後光中喜北川田 (二)(中)(三)(遊)(右)(投)(捕)(一)(左)

(應慶) 崎田館本野上　本木 宮中大楠宇井寛岩白 (二)(中)(遊)(右)(三)(捕)(左)(一)(投)

△第一回「東」飛田三振、山本右前安打したが後藤の遊飛で併殺△「慶」宮崎遊飛、中田遊飛、大館三飛(兩軍0)

△第二回「東」武光左前安打、中倉四球、喜多の中前直球を中田突込み過ぎて後逸三壘打となつて光武、中倉生還、北野も中前安打して喜多を迎へ、川端左飛後北野一盜成らず、田中三振△「慶」楠本中飛、宇野四球で井上の一飛で二進したが寛、捕邪飛(東3慶0)

△第三回「東」飛田三飛、山本右邪飛、後藤三飛、「慶」岩本三振、白木遊飛悪投に二進、宮崎の三飛と中田の中前安打に生還、大館四球、楠本の三飛は中田三封(東0慶1)

△第四回「東」光武二飛、中倉遊飛、喜多の二飛失に生きて二壘を望んで挾殺さる「慶」宇野二飛、井上投越安打、寛四球を利して岩本の二飛で進壘したが白木右飛(兩軍0)

△第五回「東」北野中前安打して川端左飛、田中中飛後二盜成つたが飛田中飛「慶」宮崎遊飛失に出て直ちに二盜、中田左飛大館中飛、楠本三越安打に宮崎生還、宇野二飛(東0慶1)

△第六回「東」山本四球、後藤の捕前犧打は守備妨害でアウト、光武、中倉共に右飛、「慶」井上右飛寛三飛、岩本中飛(兩軍0)

△第七回「東」喜多二飛、北野三飛、川端投手强襲安打したが田中の遊飛で封殺「慶」白木二飛、宮崎左前安打、中田一飛失大館の中前安打に宮崎生還し中田一擧三進、大館二盜したが楠本二直、宇野三飛(東0慶1)

△第八回「東」飛田二直、山本四球、後藤二飛、光武遊飛「慶」井上二飛、根津(寛の代打)三飛、岩本三飛(兩軍0)

△第九回「東」(慶應根津左翼に入る)中倉右飛、喜多北野共に三飛「慶」高木(白木の代打)二飛宮崎四球を利して二盜し中田の二壘右を拔く安打に宮崎生還し四A對三で慶應勝つ閉戰二時卅八分

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
東	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3
慶	0	0	1	0	1	0	1	0	1A	4

△三壘打＝喜多△殘壘＝東4、慶9△試合時間＝二時間五分

(立敎)

位置	選手	打	得	安	犧	盜	三	四	失
(三)	山下	3	1	1	0	0	0	2	0
(左)	福村	4	0	3	1	0	0	0	0
(投)	西郷	4	0	1	0	1	0	0	0
(中)	田部	3	0	0	0	0	0	1	0
(捕)	町田	4	0	1	0	0	1	0	0
(一)	中野	2	0	0	1	0	0	1	0
(PR)	(島方)	0	1	0	0	0	0	0	0
(一)	(西本)	0	0	0	0	0	0	0	0
(二)	辻	3	0	0	1	0	0	0	0
(右)	長崎	1	0	0	0	0	1	0	0
(右)	(永利)	1	0	0	0	0	0	1	0
(右)	(山縣)	0	0	0	1	0	0	0	0
(遊)	柚木	4	0	1	0	0	1	0	0
	計	29	2	7	4	1	3	5	0

(早大)

位置	選手	打	得	安	犧	盜	三	四	失
(中)	淺井	3	0	0	0	0	2	1	0
(二)	本橋	2	1	0	0	0	0	2	0
(左)	松井	4	0	1	0	0	0	0	0
(捕)	小野	4	0	2	0	0	0	0	0
(PR)	(須山)	0	0	0	0	0	0	0	0
(三)	南村	4	0	0	0	0	0	0	1
(一)	指方	2	0	0	0	0	0	0	0
(一)	(中井)	2	0	0	0	0	0	0	0
(PR)	(麥倉)	0	0	0	0	0	0	0	0
(右)	鍛冶川	3	0	0	0	0	0	1	0
(投)	石黒	3	0	0	0	0	1	0	0
(遊)	中島	3	0	1	0	0	0	0	0
	計	30	1	4	0	0	3	4	1

(東大)

位置	選手	打	得	安	犧	盜	三	四	失
(二)	飛田	4	0	0	0	0	1	0	0
(中)	山本	2	0	1	0	0	0	2	0
(三)	後藤	4	0	0	0	0	0	0	0
(遊)	光武	4	1	1	0	0	0	0	2
(右)	中倉	3	1	0	0	0	0	1	0
(投)	喜多	4	1	1	0	0	0	0	0
(捕)	北野	4	0	2	0	1	0	0	0
(一)	川端	3	0	1	0	0	0	0	1
(左)	田中	3	0	0	0	0	1	0	0
	計	31	3	6	0	1	2	3	3

(慶應)

位置	選手	打	得	安	犧	盜	三	四	失
(二)	宮崎	4	3	1	0	2	0	1	1
(中)	中田	5	0	2	0	0	0	0	0
(遊)	大館	3	0	1	0	1	0	1	0
(右)	楠本	4	0	1	0	0	0	0	0
(三)	宇野	3	0	0	0	0	0	1	0
(捕)	井上	4	0	1	0	0	0	0	0
(左)	寛	2	0	0	0	0	0	1	0
(左)	(根津)	1	0	0	0	0	0	0	0
(一)	岩本	4	0	0	0	0	1	0	0
(投)	白木	3	1	0	0	0	0	0	0
(PH)	(高木)	1	0	0	0	0	0	0	0
	計	34	4	6	0	3	1	3	1

2―1 立敎、早大を破る

【東京國通】早立一回戰は九日午後三時廿五分から角田(球)長澤、本郷、藤田(壘)四氏審判立敎先攻に開始、二對一で早大敗る

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
立敎	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2
早大	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1

◇第一回「立」山下投觸遊飛、福村左前安打、西郷一邪飛、田部遊飛△「早」淺井三振、本橋四球、松井の遊飛で本橋二封(兩軍0)

◇第二回「立」町田三遊間安打して中野の投前犧打と辻の遊飛に三進したが長崎三振△「早」南村中飛指方投飛、鍛冶川四球、石黒投飛(兩軍0)

◇第三回「立」柚木三振山下四球、福村の二飛で併殺△「早」中島投飛、淺井本橋三邪飛、松井三飛(兩軍0)

◇第四回「立」西郷二飛田部捕邪飛、野田遊飛△「早」小野左前安打したが南村三邪飛後指方の三飛で二封され指方二盜成らず(兩軍0)

◇第五回「立」中野中飛辻三飛、永利(長崎の代打)四球、柚木遊飛△「早」(立敎永利右翼)鍛冶川二飛、石黒三振、中島三邪飛(兩軍0)

◇第六回「立」山下四球で福村の投前犧打に盜られ西郷左前安打して二盜田部四球、町田三振、中野四球で山下を押出し辻右飛△「早」淺井三振、本橋四球に出て松井の中右間三壘打に生還、小野遊飛、南村中飛(立1早1)

◇第七回「立」永利一飛、柚木三振、山下左飛△「早」(立敎山縣右翼)中井(指方の代打)投飛、鍛冶川遊飛、石黒中飛(兩軍0)

◇第八回「立」(早大中井一壘)福村左前安打したが西郷の三飛で二封、田部左飛、町田二飛△早大淺井左飛本橋中飛、松井三飛(兩軍0)

◇第九回「立」中野三飛悪投で二進(代走島方)し辻の三前犧打に三進、山縣とのスクイズ成らず島方生還、柚木左前安打山下遊撃を拔き福村の三前犧打は又も安打となつたが柚木一擧本壘を狙つて刺さる△「早」(立敎西本一壘)小野二壘間安打(代走須山)南村三邪飛、中井(代走麥倉)の一飛は須山を二封、鍛冶川二飛で萬事休す、閉戰五時卅五分

▽三壘打＝松井△併殺＝本橋、中井、指方△殘壘＝立9早6△試合時間二時間十分

南湖一帶に大遊園地帶

一人當りの公園所有量において世界第二位を誇る國都公園のうちでも最大の面積を有する黄龍公園のお化粧に大童の市では本年度南湖南西の地點に常盤樹の造林計畫を樹て近く松、樅など約一萬本の移植を行ふこととなつたが

これと相俟つて南湖に今夏約十隻のボートを浮べるほか一回十錢程度でモーターボート遊覽を行ひ今秋湖岸に完成豫定の土俗博物館への入場者の送迎にも使はうと計畫してゐる

又出來ればスカール、カヌーなどの設備を本年度において行ひ將來は更にウオーターシユートの設置も計畫してゐるので數年を出でずして南湖一帶の黄龍公園は市民の一大遊園地として開放されることになるものとして完成が期待されてゐる

合同募集技術員 來月初旬來滿

滿洲工鑛技術員協會で合同募集を行つた靑少年技術員並に技術工實習生中第一次採用の一千四百五十名は四月一日より内原訓練所において訓練を行つてゐるが三十日迄に訓練を終了、六班に分れ大連及び淸津經由來滿することになつてゐる

本社主催 第一回全新京腕角力大會

期日 四月十四日(日曜日) 會場 兒玉公園の豫定

國家の興隆も國民の旺盛なる精神力と潑剌たる活動力から生れ、而かもその原動力は强健な肉體と忍苦不撓の氣魄にある、本社はこの見地に基き腕角力競技に依つて國民體位向上の一端に寄與せんとするものである、腕角力は實に古來より傳はる我國尙武の精神にしてしかも競技は和氣靄々たる雰圍氣を包み、男性、女性たるの別なく年齢にまた制限なく、到るところに於ても行はれる普遍的且つ平易な運動競技であり堅忍不拔の精神を涵養するには最も適切なる運動と信ずる所以である、本社は茲に第一回全新京腕角力大會を開催し廣く腕自慢の勇士を集め斯道體育運動の奬勵發達を期さんとするものである、同好の士の多數參加を希望する

試合規定

一、申込締切　四月十二日

一、申込先　新京日日新聞社腕角力大會係宛

一、試合は各個人戰とし本社選手權大會となす

一、審判は絶對權限を有す

一、試合前後には互に一禮するものとす

一、取組は二回戰とし決勝の場合は三回戰を行ふものとす

一、相手の手甲を臺に着けたるを以て勝とす

一、相手の手甲が臺に着かざるも十秒以内に正位置に復せざる時は抑へ込勝とす

一、兩者の力伯仲し勝敗決せざる場合は引分けとす

一、兩者勝敗の決せざる場合は優勢勝を宣することあり

競技上の注意

一、競技者は双方角力臺の左右に起ちて一禮し脚を前後に開き、腰を構へ左手は臺の左隅を持ち、右手を以て相手の拇指根部を握る樣にガッチリと組む、其の時肘は臺面に對し最も各自の有利な體勢に置きたいのは勿論だが體勢をとり、自分勝手な行動をしてはならない此際腕の傾斜角度は臺面に對し概ね四十五度となし、渾身の能力を傾注し一氣に敵を倒さんの心構へを以て審判の合圖を待つべし

一、試合開始後臺全面が戰場と化すは當然の事であつて、押す、引く捻る、拂ふ、抑へる等肘の移動は自由であるが、臺面より離さぬ樣行動すべし、肘を臺より外すことは土俵より出たと同じく反則であるから審判は負を宣する

一、臺面より頭を下らぬ樣にすること

一、試合中は上膊を臺に着けぬ樣にすること

一、試合中故意の方法に出でたるものは失格とす

一、競技者は審判者の「用意」の合圖で取組み「始め」の合圖で試合を開始すること

一、腕角力は他の競技と異なり膂力に依つて非常なる力を増すもので、あるから精神力を鼓舞する意味に於て之れを認める、但し相手の人格を罵倒するが如き言辭を弄しスポーツマンシップに反する行爲あるときは退場を命ずる

一、競技者は靑年組、壯年組の二つに分ける、靑年組は三十五歳未滿とし、壯年組は三十五歳以上とす

一、其の他競技上に於ける問題は審判員の命令指示に俟つべし

一、試合組合せは抽籤により試合方法はトーナメント式とす

一、競技者は上半身裸體とす但し止むを得ざる場合はシャツを用ふるも可なり

賞品

優勝者には本社優勝盃副賞　五等迄賞品を呈す

胃腸病の中で最も多い

胃酸過多症とはどんな症狀か？

油斷のならぬ胸やけの原因と手當・これに重曹の濫用は惡い

胃の病氣のうちで最も多いのは胃酸過多症であります。食慾のすゝむまゝに食べすぎるとか、酒を無闇にのむとか、肉類を澤山食べるとか、又は刺戟の强い食物を攝るとかの際に起るので、中年の人に特に多い病氣であります。

酸つぱい液が胃から口に出て來、胸がやけ、食後二三時間たつてから鳩尾のところが痛みますが

食事すると痛みがとまり

腹になるとまた痛み出す――といつた風の症狀が現れるのが、この病氣の時徴であります。

この病氣の代表的な症狀である胸やけはどうして起るかと申しますと、胃は食物を攝ると之を消化するために盛んに酸味のある胃酸を分泌するのですが、胃液の分泌機能に異狀が起つて、胃液中の鹽酸の分量が多くなると、その酸度のために胃壁が刺戟されて、胸やけを感ずる樣になります。

では、この胸やけを放つて置いたらどんな危險があるかと申しますと、胃液の酸度が多いために次第に胃壁が自分の胃液のため冒されてたゞれ、遂には吐血する、即ち

胃潰瘍を起したり後には胃癌

に移行する樣なことも稀ではありません。――ですからこの胸やけの症狀が現れたら、これを早く癒しておくことは、自然、胃潰瘍や胃癌の豫防には大いに役立つ譯であります。

胸やけがすると直ぐに重曹劑を買つて來て服んだり、また藥屋へいつて胸やけがして困るが何か良い藥を調合して下さいといふ、藥屋でも胸やけなら胃酸過多症でせう。酸を中和するにはアルカリ劑がよいといふのでアルカリ劑なる重炭酸ソーダといふ樣な藥を盛つたり致します。――なるほど重曹は胃酸を中和する作用がありますので之を服めば一時は胸やけが止ります。併し

重曹は分解すると炭酸ガスを發生

します。そして、この炭酸ガスは更に胃壁を刺戟して鹽酸の分泌を促しますので、之を用ひると後には益々胃酸を多くすることになつて却つて有害なのであります。

かうした重曹の樣な、一ツの症狀だけを一時とめる化學藥劑とは全然性質を異にし、胃壁の細胞に働きかけて異常に亢進してゐる胃の組織細胞を正しい狀態に引戻す作用ある複合酵用酵母菌劑若素(わかもと)といふ藥があります。

――この藥の特色は、いまいふ通り、衰へてゐる胃の組織細胞に活力を與へて、變調を來してゐる

胃の組織細胞を正常に引戻す點

にありますので、之の胃腸病に及ぼす効果は非常に廣いのであります。――例へば胃酸過多症の人が之を服めば胃液の分泌機能が調整されて、多すぎた酸が自然に正常に復し、胸やけも止りますし、また胃酸過多症を長く放置してゐた胃潰瘍になつてゐる人であつても之を服めば潰瘍面の細胞がだんだん新生されて胃の痛みも消退することになります。

而も一面には、消化を促進する作用もありますし、特に在來の胃腸藥劑と違つて副作用がなく、長く服用しても習慣性にならぬ點など、胃腸病者から非常に喜ばれてゐます。

胃アトニー(胃弱)の人は食餌療法を第一に

胃アトニーとは、胃の筋肉が弛み、彈力性が減じて、食べた物を腸の方へ送り出す力が衰へる病氣であります。

この病氣は概して慢性の經過をとり、食慾があつてもいざ食卓につくと少量でお腹が一杯になつた樣に感じがして思つたほど食べられない、俗にいふもたれがこの病氣の時徴であります。胃の上を指先で叩くと水振音といつて水の溜つてゐる音がします。重くなると

食慾

が進まず、噯氣が出て、一度食べた物が再び出て來たりしますし、また多くは頑固な便秘を伴ひます。

胃アトニーの場合は食餌に充分注意して、魚類は脂肪分の少いもの、乳、脂肪の多い肉、罐詰等は食べない方がよろしいのであります。次に食餌の量を少くして三度の食事を五六回に分けて攝る樣にします。一一水分もなるべく制限し、多くとも一日五六合位を極度にします。便秘する時は下劑を用ひるよりも牛乳や消化し易い野菜、果物、蜂蜜等を攝り一方腹部のマッサージをするのは良いことであります。

斯うして食餌に注意する一方、適當な藥で、鈍つた胃の緊張力を正常に引戻す方法を講じないと完全な治療は望めませんが、一體今日までの胃の藥といへば、例へば食後胸やけがして空腹時に胃の痛む胃酸過多症には、主として重曹を與へて多すぎる胃酸を中和させるとか、或は腸の蠕動の緊張から來る便秘には瀉下劑を與へて一時便通をつけるとかいふ風の對症法の藥劑を出ないものが多かつたのであります。

ところが、このごろ胃酸過多を始め種々の胃腸病に廣く用ひられてをります若素(わかもと)は胃腸の衰弱疲憊した細胞に

活力

を補給してその機能を健全な狀態に至らしめ、よつて以て諸種の障碍を根本から治さうとするもので、すに出ながらしめようといふ

…從つて之を服用しますと衰弱した胃腸の機能が完全に立直つて、胃に彈力性が生じ、從つて胃部のもたれ、噯氣も消失し、腸の蠕動も正常に復するし、便通も規則正しくなる樣になるといふ風に、同じ藥で種々の症狀を治します。

この若素(わかもと)は東京芝公園大門際、わかもと本舗榮養と育兒の會(振替東京一七〇〇番)から三百錠入、千錠入(小兒用)の外に一二七〇瓦入等が一日分僅々五錢(小兒には二三錢)の割で賣出され、滿洲國、中華民國の各地藥店でも販賣してをります。

極度の偏食から脚氣を病み執務中に仆る

(濱島縣豐田郡木大村) 谷川末男

私の病氣は偏食に原因してゐると思ひます。何しろ生れて今日迄一度も麥飯を食べません、副食物にいたつては好き嫌ひが多くて、自分乍ら不自由を感じ、ほとほと困つてをりました。

丁度小學校を卒業して二年目、夜盲症に罹りましたので、醫師の治療を受ける傍ら、自分でも食餌の攝取に注意しました處、幸ひ全快しましたので、再び工場に通勤してをりましたが、二ケ月目頃から今度は全身が懶く、非常に仕事に疲れを覺えるやうになり、同僚の仕事が出來ぬやうでした。

醫師の診察で脚氣との事で、醫藥の外に新聞や雜誌の廣告を頼つては、これと思ふ藥を求めて服みましたが更に効果がありませんでした。

丁度さうした折、私の兄が久し振りに歸宅して病狀をいろいろ訊ねた末、それなら『錠劑わかもと』が良いと云つて廿五日分のを買つて來て呉れました。休むわけにも行かず、無理をして出勤して居りまする中に昭和十二年の八月遂に執務中に斃れて仆れたのであります。

めました所、約×日位してそれ迄にも頑固だつた便秘が解消し、毎日定つて便通があるやうになりました。これに力づいて、尙も服用を續ける中に病氣以來九十五日目『錠劑わかもと』服用以來××日目に漸く輕快の喜びに浸る事が出來ました。この頃は足の浮腫もとれ心身も爽やかになつて、以前の勞働に從事してをります。先日私は同年の友二人と連れ立つて健康保險の醫師に診て貰ひました所、三人の中で一番體格が良い、徴兵問きだから志願しても大丈夫だと讃められ、非常に嬉しく思ひました。

多年の"預り勝負"
異色版・腕の飛入り

宿敵皆川出合へ！
日本一強い！平島さんの挑戰

滿洲最初の企て本社主催第一回全新京腕角力選手權大會は俄然各方面の絶讃を博し我こそは第一回の榮冠を獲得せんものと日頃腕自慢の隱れたる勇士の申込續々到りその盛大を豫想されてゐるが天孫降臨の地日向に生を享け父祖三代腕角力の覇者として雷名を轟かした滿鐵新京支社長平島敏夫氏はわが社の企に贊同し「實に愉快な企てだ、三十年前亡くなつた親父を思ひ出したよ」と特に本大會に平島賞を出し一層その催しを壯んにすることになつた、當日は多年の宿敵皆川顧問との模範試合を行ふ豫定である、この催につき平島氏は語る

こんな愉快な企てはまつたく滿洲最初の事で全幅の贊同を惜まない、僕の家は親父は身長五尺八寸もあり力も強く腕角力では宮崎縣で右に出る者はなかつた父もまた腕自慢で近隣に知られてゐた來年は父の三十年忌にあたるが貴社の催で昔の父を思ひ出したよ、從も腕角力には自信があり稻垣君ともよくやつたものだ、皆川君とは數回水が入つて勝敗を決せずそのままになつてゐる言はば宿敵だよ、當日は一つ仇をとつてやるかな

滿鐵の腕自慢平島新京支社長の挑戰を受けた皆川協和會總務部長

わしや敵はんヨ
不戰勝の謙讓　皆川さん應ぜず

本當かい、弱つたネー、大敵だよ平島さんは、それに第一わしの大先輩ぢやからね、この際謙讓の美德といふやつを發揮して不戰一勝と相手に花をもたせるかな、皆川ともあらうものが逃げるは卑怯だつて？いや、別に敵に後をみせるつて譯ではないが、これはどうも大變なことになつたもんぢやワイ

どうやら腕には自信のなささうな皆川さんの返事だ、こんな相手と互角の勝負を爭つてゐたといふのだから平島さんの『日本一』も案外怪しいものかも知れない

宗教趣味座談會

大同佛教會では十三日午後六時から官吏、會社員、商店員其の他の各層青年を集め宗教に關する趣味の座談會を開催する

建國大學新入生憧れの國都入り

今回日本内地から建國大學に入學する新學生八十名は森信三教官に引率され十日午前八時新京驛着列車で晴れの國都入りをした

遊興税の要らない割烹
旅館名儀で脱税？
『邦樂』の闇に追及の手

昨年の十二月から遊べば遊興税が取られるものと相場がきまつてゐるのにこれはまた一人前五圓以上飲食しても遊興税の要らない割烹が現はれて酒客の話題を賑はせてゐる

如何なる理由に依るものか問題となつた家は國務院の近く永昌路に寺院風の豪華な建物を新築して十數名の仲居を置いて本年一月八日より營業を開始した「邦樂」（名儀人村木門太郎氏）で、遊興税が要らないといふ評判は唯でさへ新しもの好きの國都人の間に擴まつて會社や官廳の宴會にしばしば利用されるに到つたので、不思議な事實として營業者間を始め世評を昂からしめた、この風評に乗ておかれぬと首都警察廳保安科では早速取調べたところ、成程遊興税も要らぬ筈「邦樂」は割烹として許可されたもので無く旅館として許可されたものであることが判明、旅館名儀を以てかゝる行爲をなす事は立派な脱税行爲とみなし直ちに割烹類似の業態を停止して旅館專一とする樣嚴重な戒告を與へて問題は落着したかの如く見られてゐるが

この事件の裏面にひそむものとして問題となつてゐることは誰が見ても割烹風に見える建物の同家が何故旅館として許可されたかといふことである、これに付ては同家が新築に取りかゝつた時に話はさかのぼるもので當時新潟縣から渡滿した同家經營者村木門太郎氏は國務院を始め官廳の林立する同地域に一軒の割烹もないことに着限して、某要路者の落成後は必ず割烹として營業許可をするといふ諒解を得て起工したのである

しかるにその後戰時下の方針として不急不要の營業として割烹の如きは原則として新築許可されざることとなり、同家が落成され鄕里新潟縣より仲居十數名を呼びいざ開業しようといふ時になつて不許可となつたので、さきに暗默の諒解をなした某要路者が處置に苦しみ斡旋の結果旅館名儀で許可して割烹行爲を默認しようとしたものらしく

その點を目下追及されてゐるが、現在まで心付收入として無給の仲居が何處に落着くかと共に關係者間の興味の焦點となつてゐる

順天署語る

割烹として建築しながら旅館を營業しなければならぬ破目となつた「邦樂の問題」について直接取締の衝に當つてゐる所轄順天署では

當方としては上司の命令通りにやつてゐるだけで詳細はわからぬが、世評の方が輪に輪をかけた大げさなものになつてゐるのぢやないか、收入の途がなくなつた仲居達が風紀紊亂行爲をしてゐるといふ話もあるがそんなことは決して無い、もしあつたら斷乎として處分する、旅館名儀の脱税行爲を目と鼻の先でやられて警察の威嚴に關するなどと隨分惡評されたが、大體根本的な新築から許可に到る頃の事實がよつぽど威嚴に關するよと甚だ意味深長な言を吐いてゐる

詩のオスロ、いま戰火の中に
マドロスたちはどうしてゐるだらう
思ひ出を語る河村泰男氏

ノルウエーの首都、北歐の詩の街オスロも獨軍のため無血占領され國王ハーマン七世蒙塵さるの飛報は燎原の火と燃る新戰場のひしめきを切々と物語つてゐるが今から四年前の康德二年の多スケート競技の研究員として日本スケート代表一行に先發約一ヶ月間オスロに滯在した現新京特別市公署體育股河村泰男氏は思ひ出の日の數々を偲びながらスポーツマンらしい口調で感慨深げに語る

第一次歐洲大戰前はクリスチニヤといつてゐたのを戰後オスロと市名を改められたもので、スカンヂナヴイア半島第一の都市として中歐の文化を充分吸收してゐるのが見られた、ノルウエーは海運國として國人は多く海外に雄飛し非常にマドロスが多く日本の港についても中々精通し居り日本をあこがれの地としてゐるとも聞いた、スキー、スケートは國技で市民は街の背後にある山を利用して數萬のスキーヤーが出かけるのも壯觀であるスケート場もスケート倶樂部所屬のフログナー・リンクがあり屢々世界選手權も開いて有名だ、またノルウエーの夏はすばらしく、ドイツの學生が暑中休暇を利用して續々渡諾してゐるので同方面の地形もこの學生等には隨分明るいだらうから今度の戰爭にも可成りの役目を果したことだらう【寫眞はオスロ市街と語る河村氏】

悲しみの旗日
あすお遺骨到着日

護國の人柱として戰線に散華無言の凱旋をする皇軍勇士の御遺骨〇〇柱は十二日午後二時十分吉林方面より同三時十分哈爾濱方面よりと二回に亘り新京驛に到着弔旗もしめやかな中央通、蓬萊町を經て西廣場滿鐵倶樂部に至り安置　同夜九時半より新京特別市主催による慰靈祭を執行、一夜を讀經裡に過した後十三日午前九時四十分同所出發、同十時三十分新京驛發一路南下する

東亞武道大會選手の猛稽古

晴れの東亞武道大會出場に備へると共に武道の精神を究めるため去る一日から中銀道場を滿洲帝國武道會假道場とし毎日午後五時から三十餘名の有段者が詰めかけ島谷武道顧問の指導の下に猛稽古を始めてゐる【寫眞は猛稽古の選手達中央島谷氏】

火藥の素から立派な肥料生産
吉林の硝土に科學院のメス

農業生産力擴充を急務とする滿洲國であり乍ら國内の肥料需給關係は窒素、燐酸加里の何れも充分の需要を充すことが出來ぬ立場にあるため總務廳、産業部、大陸科學院、開拓總局等關係各機關においてこれが解決を熱心に研究中であるが大陸科學院では滿系間に古くから火藥や爆竹等に使用されてゐる硝土がそのまゝ肥料として活用されることを確認、增産を急ぐ滿洲農業界に明るい前途を約束した

かねて硝土の肥料利用に着目、硝土産地の調査を計畫中の同院では産業部の應援を得て去る五日から板野新夫博士、川瀨副研究官、産業部池田技佐らの調査班を吉林省扶餘縣に派遣、同地の硝土生産狀況を詳さに調査し九日歸院、分析研究中であるが、同地帶の硝土埋藏量は驚くべき豐富さで硝酸加里を含んだ硝土そのものを何等加工せずして肥料に使用出來るため農家の福音は大なるものがあるといはれてゐる

なほ硝土は吉林熱河省附近に多く硝酸化成菌といふ細菌の作用により長年月の間に生成すると云はれてゐるが、果してこれが唯一の成因であるかは不明で火山の噴火によつて堆積したものが海中で海藻の集積によるとの説もあり、今後幾多の學術的研究命題を殘してゐる興味ある土壤である

卵にも公定價格
大口取引きに制限

國都に於ける鷄卵の値段は現在區々まち／＼の狀態なのに鑑み市公署實業科ではこれが適正價格設定配給の圓滑化を圖る意味に於て今後中央卸賣市場を通してでなければ鷄卵の大口取引は出來ない方策を取る模樣である

從つて鷄卵の市價も現在の如くまち／＼の狀態を脱し市場に於ける仲買人達のせり値によつて大體の標準が判明する譯でこの標準値を基準として市公署では近く公定價格を決定する筈

軍艦八丈進水

【長崎國通】わが海軍に新威力を加へてゐる軍艦八丈の進水式は十日午前平田佐世保鎭守府司令長官臨場の下に佐世保海軍工廠において擧行され、原工廠長の鍛斧一閃、八丈は見事に進水した

種痘怠るな
痘魔の猛威衰へず

内地朝鮮各地に蔓延しつゝある天然痘の國都闖入の防遏に國都防疫各機關では大童となつてゐるが去る四日日本橋通六三フランスアパート二四號鈴木一雄（三〇）氏が順天醫院で天然痘（傳染經路不明）と確診、千早醫院に隔離されたのを合せて一月より本月十日現在で十三名發生し

そのうち治癒したもの六名、死亡一名（滿人小兒の遺棄死體が天然痘だつたもの）現患者六名で諸種の豫防對策にも拘らず散發的に發生しつゝある狀況なのに鑑み、衛生當局では去る一日より祝町衛生試驗所、中央通保健所等數個所で實施してゐる種痘を未だ受けてをらないものは速かに種痘をうけるやう望んでゐる

球界を語る
第七回大會開幕に先立ち
本社主催座談會

スポーツファンに贈る春のプレゼント本社主催、西山運動具店後援第七回全新京野球大會は發表と共に滿都の絶讃を浴びて愈よ來る二十一日、二十二日の兩日兒玉公園球場に豪華な幕を切つて落すことゝなつたが、準備に愼重を期して本社ではこの前奏曲ともいふべき「本年の野球界を語る」座談會を各チーム監督、選手代表數氏の出席を得て十一日午後六時より國都グリルで開催

國都球界に新しく來た人人の紹介や戰前豫想等種種シーズンへの期待を語ることゝなつたが、この會に於ける興味ある話題は近く各チーム練習場を巡つての紹介と共に讀物として本紙上を飾りファンの大會待つ心を一段と彩ることゝしてゐる

溺死のお守り

十日朝長通路署管内東安屯の野井戸に溺死體が浮んでゐるとの屆出により首警鑑識股で檢屍したが死後四十時間、年齢二十四、五歳強度のロイド眼鏡をかけ、頭髪丸刈ジャンパーの上衣にコールテンヅボンを着し日系市民らしく成田不動のお守りを所持するだけで身許不明である

滿洲書籍雜誌商組合創立總會

全滿各系を打つて一丸とする書籍雜誌商組合の結成が各方面から要望されてゐたが十日午後三時から新京國都飯店に於て滿洲書籍雜誌商組合創立總會が開催された【寫眞は總會】

春波かへる
きのふ本年最高十九度七

採暖休止期の四月に入つてから皮肉にも氣溫の低下をみて降雪さへあつた國都の水銀柱は九日ごろから逆戾りし始め九日の最高氣溫十一度十日午後二時には十九度七分といふ本年度最高の記錄をとゞめた、これがため十日の國都は終日春暖に誘はれた子供づれの奥さん連の散歩姿で賑ひ舗道の楊柳や芝生にも今にも青い芽が吹き出しさうな陽炎さへ見受けられたほどだつた、中央觀象臺の話

低氣壓は開魯附近に停滯し、高氣壓は佳木斯附近に弱いものがありますが中支那の奥地にあるやゝ弱い高氣壓の影響で全滿共に風のないよいお天氣となつてゐます十一日も引續き南西の風晴れたり曇つたりでせう、十日午後二時の觀測では十九度七分ですが三時すぎには二十度以上になつて居り去年けふの二十度六分と大體同氣溫でした、寒さの方ももう大したことはなく先づ順調な春の訪れと云へませう

陸鷲練習中民家に爆彈落下

【東京國通】陸軍省十日午後四時發表＝昭和十五年四月八日午後一時十五分頃陸軍機爆撃訓練中靜岡縣濱名郡小野口村字新田西北端に爆彈落下し死者五名重輕傷者六名を出し家畜、家屋等に被害を與へたるをもつて直ちに所要の應急處置をとるとともにこれが善後處置に遺憾なきを期しあり

早大雪辱成る

【東京國通】東京大學野球リーグ戰早大對立二回戰は十日午後零時半から神宮球場に於て本郷（球）坪井、長澤天知（壘）四氏審判の下に早大先攻で開始されたが八對五で早大の雪辱成る

早　001024001―8
立　030002000―5

慶應東大に快勝

【東京國通】慶應對東大二回戰は引續き午後三時三十七分から天知（球）西村、山崎、角田（壘）四氏審判慶應先攻に開始された

慶　118004300―17
東　000100011―3

七分搗

興安局のハリキリボーイ高綱參事官は精力の源泉を惡食なりといふ▼何を惡食してゐるのかしらないが事蒙古の話しになると正に精力そのものだ、滔々と二三時間ぶつ續けるその熱論には然し多くの傾聽すべきものがある▼若かりし頃の外蒙旅行談等は得意中の得意で「土饅頭」の秘話がいつもその頂點だ▼遊女興國論を唱へて領事と喧嘩した話など面目躍如たるものがある、惡食家の狙ひはやはり常人の窺知し得ないところにあるか

けふの天氣　南の風曇時々晴
きのふの氣溫　最高二十度七　最低〇度九

世紀の英雄（11）

番仲二
夏目醇

（無斷上演上映禁ず）

店員女氣質（六）

硝子のケースに兩手をついた儘京平を見詰めて大岡はなほ、

『本當に近頃、重役がうるさいんだ。僕が今してゐるこのタイだつて、僕のスタンドでゐて一割か引いてくれないんだよ』

と、外國物らしい色合ひの良いネクタイをしてゐる首を一寸つき出した。

『さう、煩さかつたらいゝぜ』

京平にはもうはつきりと大岡の迷惑がつてゐる態度が感ぜられたので、『では結構。いらないよ』と斷つてしまはうとしたが言葉にはならなかつた。

『煩さかつたらいゝぜ』程度の、曖昧な言葉にしか表現出來なかつた。

『まあいゝよ。とにかく行くだけ行つてみよう』

さう言つて大岡は同じスタンドの女店員に

『一寸留守番してゐてね』

と聲をかけて、昇降機の釦を押した。

京平はもう三割が五割引いて貰つても大岡の厄介にはなりたくなかつた。それ程迄に思つて居て口に出ないのだ。

大岡は洋畫部へ行くと、そこの者と話して居たがやがて『こつちへ來い』と眼で知らせた。

京平がそばへ行くと、大岡は低い聲で

『繪の具の方は何とかするから劇場の切符を二三枚、都合して貰へないかね』

『さあ、今度の「パレード」は當つてゐるから席をとれるかとれないか僕には解らないよ。もつとこれで偉い役にでも居るのだつたら滿員だらうが何だらうが切符の二三枚なんかわけないだらうがね』

『いや、僕が欲しいのじやないんだよ。この洋畫部の人にやりたいんだ。何しろ迷惑をかけるんだからね』

『交換條件でわけかい？』

それが京平のせいぜい言へた皮肉だつた。

大岡が京平とさうした話をしてゐる間、當の切符を賴んだ男店員は全然自分に關係がないと言ふやうな顔をしてケースの前に立つてゐるのだ。

『さう言ふわけぢやないけどさ』

『もういゝよ。僕は定價通りで買ふからあの人に賴んでくれなくても結構だぜ』

相變らず濟ましこんでゐる男店員の顔を見乍ら言つた。はつきりと言つてしまふと京平の身體の中に何とも言へぬ爽快味が漂ふのであつた。

『さうかい。ぢやわざ〳〵降りて來るのぢや無かつたよ』

大岡は意地の惡い女の子がするやうな顔でツと橫を向いた。

『濟まなかつた。ぢや、僕は失敬する』

京平は昇降機の方へ歩き出すと『待ちたまへ。其處迄一緒に行くから』と言つて大岡も並んで來たが、昇降機の横手にある洗面所から顔を出した直子をみると驚いたやうに一瞬立止つた。

直子の方も大岡の姿をみると狼狽して一度洗面所へ引返さうとしたが、脇に居る京平をみて危く止まつた。

彼女は化粧をし直して來たらしく頰は和らかにクリームが塗られてあつたが、顔はこはばつてゐて眼が泣いた後を示し、はれぼつたく腫らんでゐる。

『僕はこゝで失敬すらあ』

直子に大岡は用があるらしく周章てさう言つた。

『どうぞ。ぢや、さようなら』

京平は其處で昇降機を待つてゐるのは、如何にも二人を好奇の眼でソッと見守るやうに思はれはしまいかと考へ階段を大急ぎで降りて行つた。

列車發着表

○大連方面行
△大連行 前二時三十分
△奉天行 六時廿五分
△釜山行 八時
△奉天行 八時卅五分
△大連行 九時三十分
△營口行 十時三十分
△四平街行 十一時三十分
△奉天行 後一時五分
△大連行 一時四十分
△大連行 二時三十分
△大連行 三時廿五分
△四平街行 四時五十分
△釜山行 六時五十分
△四平街行 七時四十分
△大連行 九時四十分
△大連行 十一時十三分
△奉天行 十一時三十分

○哈爾濱方面行
△哈爾濱行 前三時四十二分
△德惠行 五時十五分
△哈爾濱行 六時三十分
△哈爾濱行 八時十分
△哈爾濱行 九時
△哈爾濱行 後十二時五十六分
△哈爾濱行 三時十五分
△哈爾濱行 五時三十分
△德惠行 七時十分
△哈爾濱行 十時卅五分
△牡丹江行 十一時四十五分

○圖們方面行
△吉林行 前七時五分
△羅津行 八時卅五分
△圖們行 九時四十五分
△吉林行 後一時
△牡丹江行 三時二十分
△吉林行 七時廿五分
△清津行 十時五分

○白城子方面行
△白城子行 前八時廿五分
△白城子行 十時五十五分
△前郭旗行 後五時三十分

○大連方面より
△大連發 前三時卅二分
△大連發 六時十八分
△奉天發 七時四十五分
△大連發 八時
△四平街發 八時四十六分
△四平街發 九時四十分
△四平街發 十時卅二分
△釜山發 十一時四十二分
△奉天發 後十二時三十分
△大連發 三時
△大連發 四時二十分
△大連發 五時二十分
△營口發 六時四十八分
△大連發 八時二十分
△奉天發 九時廿五分
△釜山發 九時四十六分
△奉天發 十一時三十分

○哈爾濱方面より
△德惠發 前零時三十分
△哈爾濱發 二時二十分
△牡丹江發 六時十四分
△哈爾濱發 七時十四分
△德惠發 十一時三十分
△哈爾濱發 後十二時五十分
△哈爾濱發 一時三十分
△哈爾濱發 三時十分
△哈爾濱發 六時四十分
△哈爾濱發 九時三十分
△哈爾濱發 十一時三十分

○圖們方面より
△清津發 前七時十二分
△吉林發 十一時廿四分
△牡丹江發 後二時十分
△吉林發 五時廿一分
△圖們發 八時四十分
△羅津發 九時三十分
△吉林發 十一時十五分

○白城子方面より
△前郭旗發 十二時一分
△白城子發 後六時卅二分
△白城子發 九時五分